

# 設 計 書

工事名称 21世紀の森と広場西口トイレ改築工事

工事場所 松戸市千駄堀296番1及び296番2

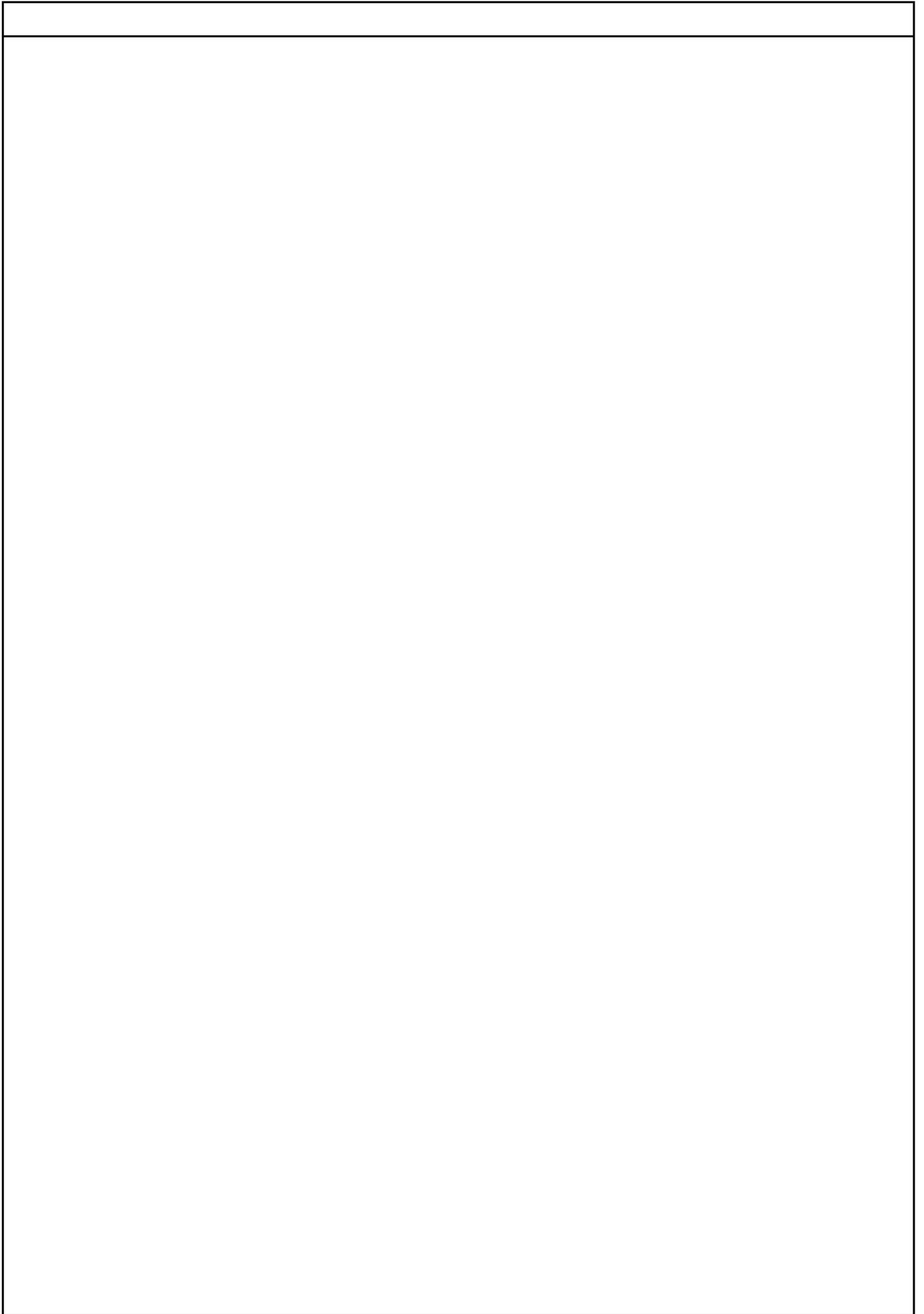
工 期 自 令和 年 月 日  
至 令和 8年 3月 19日

設計年月日 令和 7年 8月

( 工事価格 )

前払金及工事出来高の内払回数については松戸市財務規則による。

参 考



















建築工事					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設		1	式		
計					
土工・地業		1	式		
計					
鉄筋		1	式		
計					
コンクリート		1	式		
計					
型枠		1	式		
計					
仕上げユニット		1	式		
計					
外構		1	式		
計					
解体		1	式		
計					
発生材処理	積み込み・運搬・処分	1	式		
計					









































建築工事		直接仮設				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
桢組本足場 (手すり先行方式)	w=600 12m未満 仮設材運搬共	1	式			別紙 00-0005
桢組本足場 (手すり先行方式)	建桢 600×1700 布桢500×1枚 掛払い手間 12m未満 - -	95	m <sup>2</sup>			
桢組本足場 (手すり先行方式)	建桢 600×1700 布桢500×1枚 供用1日賃料 修理費含む 12m未満 - -	95	m <sup>2</sup>			
桢組本足場 (手すり先行方式)	建桢 600×1700 布桢500×1枚 基本料 修理費含む 12m未満 - -	95	m <sup>2</sup>			
仮設材運搬 (桢組本足場) (手すり先行方式)	建桢幅600	95	m <sup>2</sup>			
計						
安全手すり (手すり先行方式)	桢組本足場用 仮設材運搬共	1	式			別紙 00-0006
安全手すり (手すり先行方式)	桢組本足場用 掛払い手間 -	115	m			
安全手すり (手すり先行方式)	桢組本足場用 供用1日賃料 修理費含む -	115	m			
安全手すり (手すり先行方式)	桢組本足場用 基本料 修理費含む -	115	m			
仮設材運搬 (安全てすり)	桢組本足場用(手すり先行方式)	115	m			
計						
ネット養生シート張り	防災 類 仮設材運搬共	1	式			別紙 00-0007
メッシュシート張り	防災性能 JIS A 8952 類 掛払い手間 -	95	m <sup>2</sup>			
ネット養生シート張り	防災 類 供用1日賃料 修理費含む -	95	m <sup>2</sup>			
メッシュシート張り	防災性能 JIS A 8952 類 基本料 修理費含む -	95	m <sup>2</sup>			
仮設材運搬 (シート・ネット類)		95	m <sup>2</sup>			
計						







建築工事		発生材処理		積込み・運搬・処分		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
発生材積込		1	式			別紙 00-0012
発生材積込み	コンクリート類 人力	24.3	m3			
発生材積込み	ボード・木材類 人力	6.7	m3			
計						
発生材運搬		1	式			別紙 00-0013
撤去材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 無筋コンクリート類 D1D区間有り 23.0km以下	24.3	m3			
撤去材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 石こうボード類 D1D区間有り 23.0km以下	6.7	m3			
計						
発生材処分		1	式			別紙 00-0014
発生材処分	がれき類	11.2	m3			
発生材処分	金属くず	2.8	m3			
発生材処分	木くず	1.2	m3			
発生材処分	コンクリート(有筋)30cm以下	30.5	t			
発生材処分	安定型混合廃棄物	2.7	m3			
計						

電気設備工事		電灯設備		電灯幹線		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
電線		1	式			別紙 00-0015
600V耐燃性ホリフロン絶縁電線(EM-IE)	2.0mm	10	m			
計						
ケーブル		1	式			別紙 00-0016
EM-CEケーブル	22mm2- 2C 管内	2	m			
EM-CEケーブル	22mm2- 2C FEP内 (PF-CD)	18	m			
計						
電線管		1	式			別紙 00-0017
厚鋼電線管 (G)	露出配管 16mm	1	m			
厚鋼電線管 (G)	露出配管 28mm	1	m			
厚鋼電線管(G)	(16) 地中(防食テープ巻)	1	m			
厚鋼電線管(G)	(28) 地中(防食テープ巻)	1	m			
合成樹脂製可とう電線管 (PF単層)	露出配管 16mm	8	m			
波付硬質合成樹脂管(FEP)	(40)	13	m			
電線管 接続材 (厚鋼電線管)	G16	1	か所			
電線管 接続材 (厚鋼電線管)	G28	1	か所			
異種管接続材	FEP用 A型 50mm	1	組			
計						

















機械設備工事		撤去工事		撤去工事		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
機器類撤去		1	式			別紙 00-0034
男性トイレ						
和風便器撤去	洗浄弁式 再使用しない	1	組			
紙巻器撤去		1	個			
小便器撤去	洗浄弁式床置小便器 再使用しない	2	組			
洗面器撤去	水栓1個、水栓2個 再使用しない	1	組			
鏡撤去	再使用しない	1	枚			
水栓撤去	横水栓 13A	1	組			
女性トイレ						
和風便器撤去	洗浄弁式 再使用しない	2	組			
紙巻器撤去		2	個			
洗面器撤去	水栓1個、水栓2個 再使用しない	1	組			
鏡撤去	再使用しない	1	枚			
掃除流し撤去	バック付き掃除流し 再使用しない	1	組			
みんなのトイレ						
大便器撤去	洗浄弁式 再使用しない	1	組			
紙巻器撤去		1	個			
洗面器撤去	みんなのトイレ	1	組			
身障者用鏡撤去	再使用しない	1	枚			
L型手すり撤去		1	個			

機械設備工事		撤去工事			撤去工事	
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
機器類撤去		1	式			別紙 00-0034
可動手すり撤去		1	個			
計						
配管類撤去		1	式			別紙 00-0035
給水管撤去	H1VP25A 露出配管	18.2	m			
給水管撤去	H1VP40A 露出配管	12	m			
給水管撤去	H1VP25A 地中配管	4.4	m			
給水管撤去	H1VP40A 地中配管	4.2	m			
排水管撤去	VP100A 地中配管	10.1	m			
弁きょう撤去	150	1	組			
インパート柵撤去	SA-2 500H	1	組			
インパート柵撤去	SA-3 600H	1	組			
計						
土工事		1	式			別紙 00-0036
伐採抜根	幹周15cm未満 人力	12	本			
根切り(人力)		9.5	m3			
埋戻し	人 力 根切り土 -	9.5	m3			
計						







## 現場説明書

1. 工事名称 21世紀の森と広場西口トイレ改築工事
2. 工事場所 松戸市千駄堀296番1及び296番2
3. 説明事項

### <一般事項>

- ・ 工事期間中は現場内の整理整頓及び敷地周辺環境に配慮すること。
- ・ 契約後、各施工計画書及び施工図等は遅滞なく作成し提出をすること。
- ・ 既存構造物の保護・養生を行い、損傷を与えないように施工すること。  
万が一、損傷を与えた場合には請負者の責において補修を行い、監督職員の了承を得ること。
- ・ 施工前に測量を行い、監督職員に施工位置及び遣方の確認を得て作業を行うこと。
- ・ 同時期に別発注のエレベーター改修工事が行われるため工事間の調整を行うこと。
- ・ 関係法令に係る届出等を遅滞なく行うこと。

### <工程について>

- ・ ユニットトイレ等の製作期間を考慮し、契約後すみやかに施工計画書及び施工図等を提出し、承諾を得ること。

### <共通仮設について>

- ・ 工事期間中は適宜交通誘導員を配置し資材搬入及び作業、駐停車等により現場周辺の歩行者や通行車両等の安全を妨げないようにすること。
- ・ 揚重機の選定は作業半径、定格総重量（フック重量共）を考慮して選定すること。
- ・ 工事期間中は作業範囲をガードフェンス等で区画し、一般利用客の安全確保に努めること。

### <週休2日制適用工事について>

- ・ 本工事は、週休2日工事（発注者指定方式）である。
- ・ 受注者は、現場閉所（休息）による週休2日工事として取り組むこと。  
なお、予定価格については4週8休達成相当の経費を補正している。
- ・ 週休2日制の実施にあたっては、「松戸市営繕工事週休2日工事試行実施要領」に基づき行うこと。

### <注意事項>

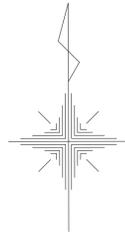
提出書類は松戸市建築工事提出書類等一覧表による。

検査・立会は松戸市建築工事検査・立会一覧表による。

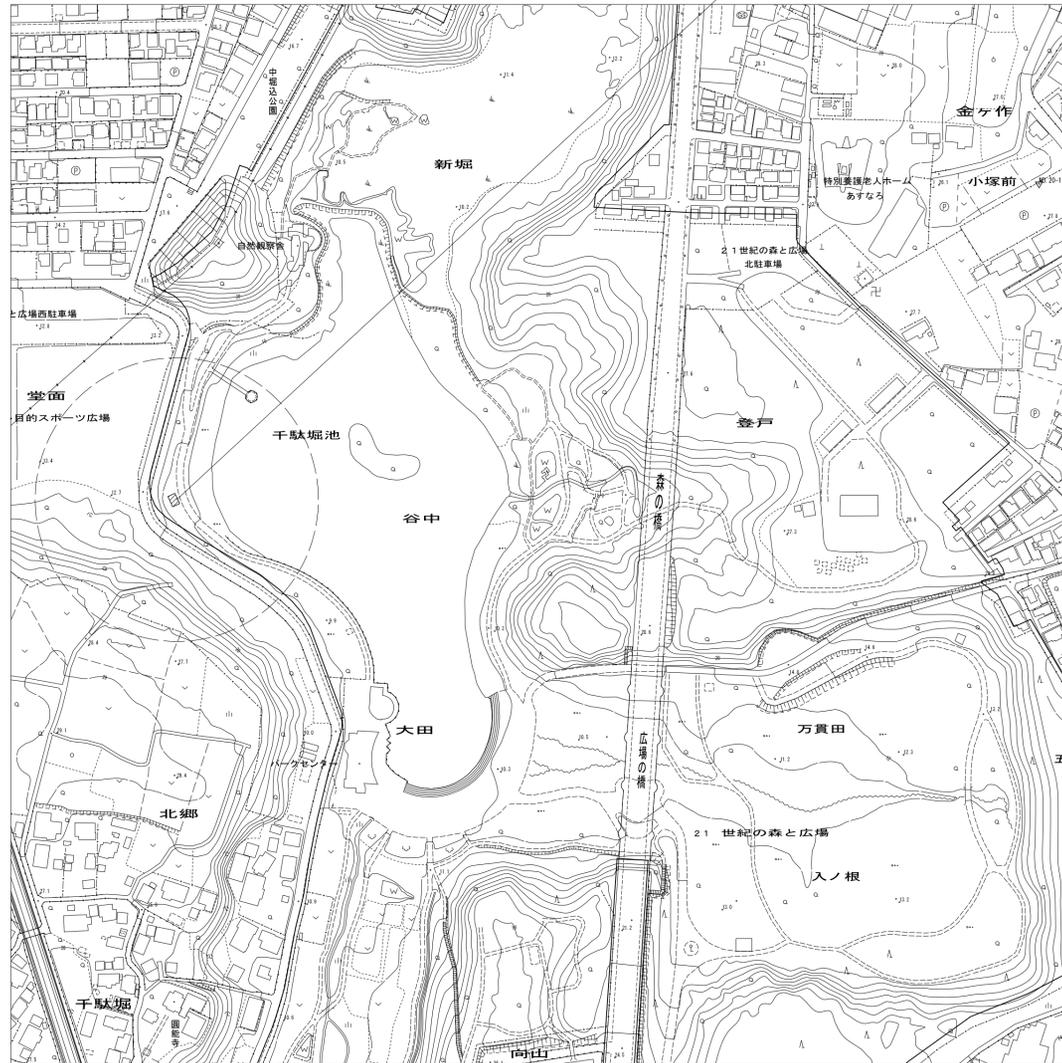
落札者は契約締結後、書式データ・図面データ等をお渡しするのでCD-RW等を建築保全課へ持参すること。

# 21世紀の森と広場西口トイレ改築工事

真北



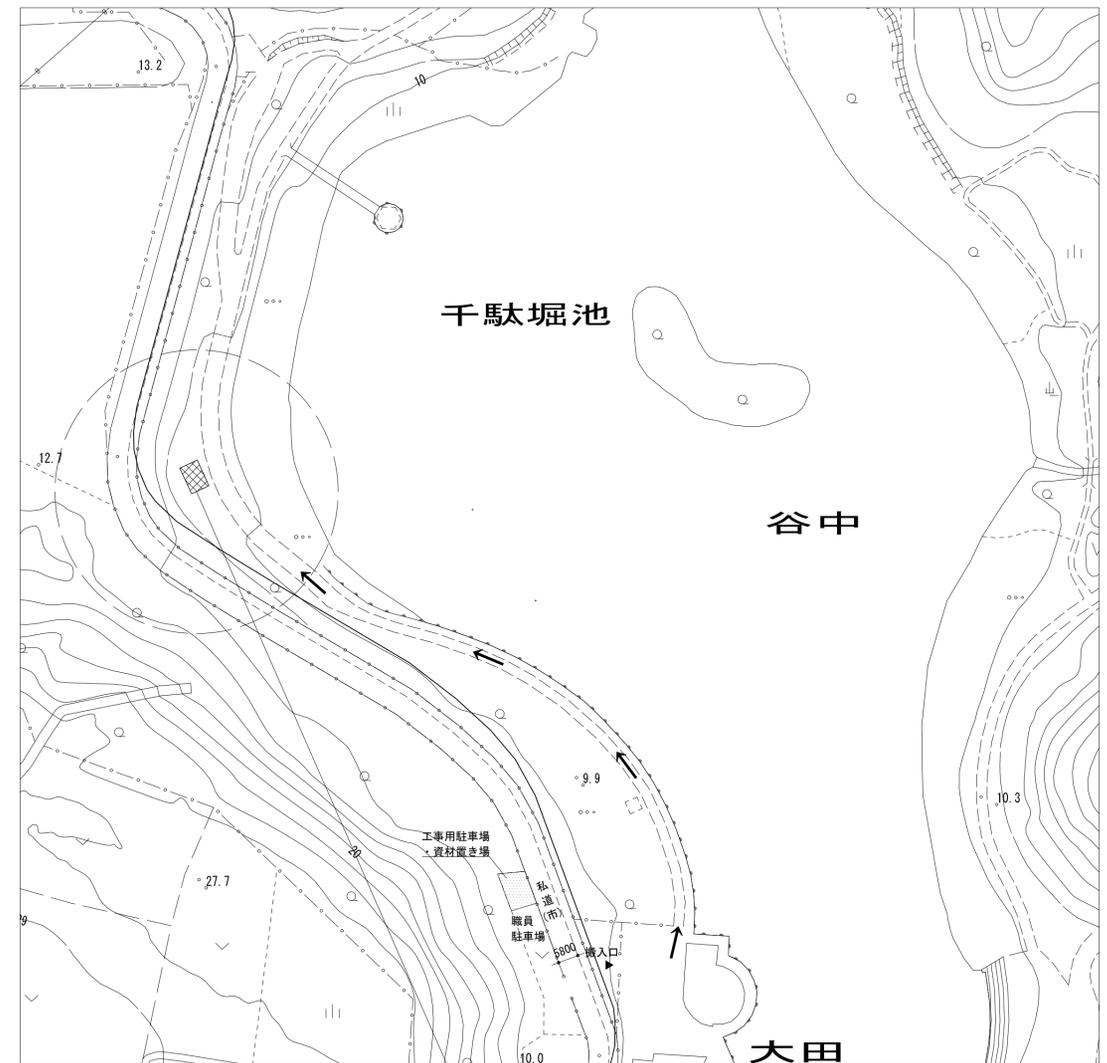
工事場所：21世紀の森と広場  
松戸市千駄堀296番1及び296番2



案内図 S=1 : 2500

〈凡例〉  
 ..... 工事場所を示す

真北



配置図 S=1 : 1000

〈凡例〉  
 ..... 工事箇所を示す

工事名	21世紀の森と広場西口トイレ改築工事		
図面名	案内図・配置図		
作成年月日	令和7年8月1日	変更年月日	
縮尺	1 : 2500 (A1)	図面番号	A-01
松戸市 街づくり部 建築保全課			

21世紀の森と広場西口トイレ改築工事

特記仕様書

**I 工事概要**

1. 工事場所 松戸市千駄廻296番1及び296番2

2. 敷地面積 156.45㎡

3. 用途地域等 都市計画区域(内・外) 用途地域(市街地調整区域)  
高度地区(指定なし) 都市公園(21世紀の森と広場)

4. 主用途 公衆便所(公園施設)

5. 工事対象建物 1) 便所新設(ユニットトイレ) 及び構造規模  
衛生器具 男子便所 : 洋便器(1) 小便器(2) 手洗器(1)  
女子便所 : 洋便器(2) 手洗器(1)  
みんなのトイレ : 洋便器(1) 手洗器(1) オストメイト(1)

構造 鉄筋コンクリート造  
階数 平屋建て  
建築面積 21.81㎡  
延床面積 21.81㎡

2) 便所撤去  
既存便所撤去、平板舗装撤去

3) 外構新設  
透水性(外排水)新設

4) 便所設置に伴う電気設備工事及び機械設備工事

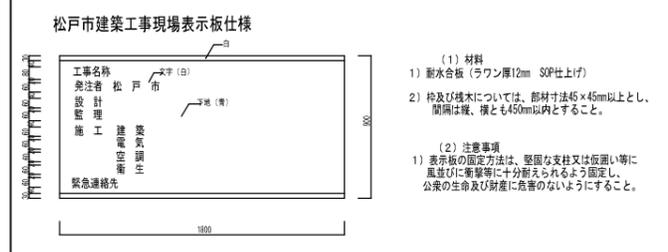
6. 別途工事  
● 別途工事については、下記の項目一覧表による。

	工事内容	別途工事	本工事
1)			
2)			
3)			
4)			
5)			
6)			
7)			
8)			
9)			
10)			
11)			
12)			
13)			
14)			
15)			

**7. 工事範囲**

◎「工事種目」全てを工事範囲とする。  
○「工事種目」のうち 〆の工事範囲は下記表のとおりとする。  
ただし、他の工事種目は全て今回工事範囲とする。

一般共通事項	2 取捨工事	3 土工	4 地盤工事	5 鉄筋工事	6 コンクリート工事	7 防水工事	8 タイル工事	9 屋根及びとい工事	10 コンクリートブロック・ALCパネル 射出成形セメント板工事	11 金属工事	12 左官工事	13 ユニット及びその他の工事	14 排水工事



**II 建築工事仕様**

1. 共通仕様  
(1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁本部監修の「公共建築改修工事標準仕様書(建築工種編)(令和7年版)」(以下、「標仕」という。)及び国土交通省大臣官房官庁本部監修の「公共建築工事標準仕様書(建築工種編)(令和7年版)」による。  
(2) 本工事は、ワグネル法対象工事である。

2. 特記仕様  
(1) 項目は、番号に ○ の印の付いたものを適用する。  
(2) 特記事項は、○ の印の付いたものを適用する。  
○ の印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。  
◎ の印と ○ の印の付いた場合は、共に適用する。  
(3) 特記事項に記載の( ) 内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。  
(4) 特記事項に記載の(別 ) は (5.3.7) による別図「各部配筋」の当該項目を示す。(専任)  
(5) 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また( ) 内は製品名を示す。  
(6) ◎ 印は「国等による環境物品等の調達に関する法律」の特記調達品目を示す。

<アスベスト含有除去材について>

①建設技術者実務を受けている工法および同等と認められる工法とする。  
なお、飛散防止処理工法の種別は除去処理工事である。  
②除去処理等によって生じた塵埃等については特別産業廃棄物として適正に処理する。  
③7A、7B除去処理工法を適切に行う為、石綿作業主任者を配置する。(専任)  
石綿作業主任者は、石綿作業主任者技能講習修了者、又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とする。  
④7A、7B等適切に処理するため、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を 配置する。(専任)  
⑤7A、7B汚染濃度測定を行う機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。  
更に、7A汚染濃度測定における計数分析は作業環境測定士によるものとする。  
⑥関係官公署に届出を行う。(労働安全衛生法一労働基準監督署)  
⑦本工事において大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、労働安全衛生法、石綿障害予防規則等、石綿処理に関する諸法令を遵守すること。

・松戸市建築工事に関する提出書類

章	項目	特記事項
1 一般共通事項	① 適用基準等	◎松戸市建築工事に関する提出書類 ◎工事写真的撮り方(改訂第二版) 建築編(国土交通省大臣官房官庁本部監修) ◎松戸市建築工事現場表示板仕様
	② 工事実績情報の登録	※適用する (1.1.4)
	③ 品質計画	◎建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による。 ※風速 (V0 = 34 ) ※地表面粗度区分 ( I - II - III - IV ) ・積雪区分 建告第1455号 別表 ( ) (1.2.2)
	④ 電気保安技術者	工事現場における電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。 ◎要 ・不要 (1.3.3)
	⑤ 条件明示項目	※現場説明書による (1.3.5)
	⑥ 発生材の処理等	※現場説明書による ◎構外搬出適切処理 (1.3.11)
	⑦ 建築材料等	本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の(1)～(6)の事項を満たすものとする。 (1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること (2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること (3) 安定的な供給が可能であること (4) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許等取得していること (5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること (6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関(「社」公共建築協会 他)が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。 また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受ける。
	⑧ 化学物質を放散する建築材料等	本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の(1)から(5)を満たすものとする。 1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板層材材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ウリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 2) 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びシスチレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 3) 接着剤はフタル酸ジエーテルブチル及びフタル酸ジエーテルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 5) 1)、3)及び4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。 規制対象外 ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b. 接着剤等不使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 d. ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 第三種 ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品 ③旧JISのE0規格品 ④旧JASのF00規格品 標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所指定する工法とする。
	⑨ 特別な材料の工法	標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所指定する工法とする。

⑩ 技能士	(1.5.2)	技能検定の職種	
		適用工事種別	技能検定の職種
		鉄筋工事 コンクリート工事	◎鉄筋施工(鉄筋組立て作業) ◎型枠施工
		ブロック・ALCパネル工事 防水工事	◎ブロック建築 ・ALCパネル施工 ・アスファルト防水工事作業 ・合成ゴムシート防水工事作業 ・塗膜防水工事作業 ・シーリング防水工事作業
		石工事 タイル工事 木工事 屋根及びとい工事 金属工事 左官工事 建具工事	◎石材施工(石張り施工) ◎タイル張り ◎建築大工 ◎建築板金(内外装板金作業) ◎内装仕上げ施工(裏張り下地工事作業) ◎サッシ施工 ◎ガラス施工 ◎自動ドア施工
11 化学物質の濃度測定	(1.5.10)	施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼンの濃度測定し、報告すること。 測定はハッシュ型採取機器により行う。 着工前の測定 → 行う 測定対象室 → 平成3年度環境庁告示第46号付表による28項目 検査 測定箇所数 → 図示 ※各1箇所 報告の様式等については、現場説明書による。	
⑫ 完成図書	(1.7.1~3) (表1.7.1)	※作成する ・作成しない ◎DF、CADデータ 2部(電子媒体(印又はD)) ◎図示 金文字裏本図 1部 ◎施工図 提出部数 ※ 部	
13 完成写真		下記のものを監督職員に提出する。ただし、原画は撮影者の保管とする。 分類・規格 撮影箇所数 提出部数 原画の大きさ(mm) ◎カラー ※キャビネ板 外部(10) 内部(各室) ※1 ・2 ・ ・ベタ装 (他に外観正面1カットのみ5枚(カラーキャビネ板)提出) ◎カラー半切木製パネル 外部(2) 内部(2) ※2 324×400(mm) ◎電子データ 外部(10) 内部(各室) ※2 ※600万画素以上 ※400dpi以上	
⑭ 設備工事との取合い		設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。	
⑮ 設計GL		図示による	
⑯ 工事写真		竣工写真 2部、工事工程写真 1部 を提出すること。	
⑰ 工事に伴う近隣対策及び公害対策		近隣及び第三者に人的・物的被害を与えない様、事前調査を行うこと。 騒音、振動、汚染については公害条例その他関連法令を遵守するとともに、低騒音、低振動の機械器具を使用すること。また、運搬路を汚染しないよう車輦及び道路清掃をすること。 本工事の完成引渡しまで工事的目的及び工事材料を火災保険建設工事保険その他の保険に附すること。 (1) 被保険者 発注者、受注者及びその全下請人員 (2) 保険金額 請負代金全額 (3) 保険期間 工事着手のときから工事引渡しまでの期間 なお、保険契約を締結したときは、その証券又はこれに代わるものを直ちに監督職員に提示すること。	
⑱ 保険		(1) 2 1 監督職員事務所 (2.3.1) (2) 2 1 工事用水 (2.3.1) (3) 2 1 工事用電力 (2.3.1)	
2	1	床面積10㎡以上とし、机、椅子、黒板等監督職員と打合せの上備えること。(2.3.1)	
① 工事用水	2	構内既存の施設 ・利用できない ◎利用できる(※有償・無償) (2.3.1)	
② 工事用電力	2	構内既存の施設 ・利用できない ◎利用できる(◎有償・無償) (2.3.1)	
3	① 埋戻し及び盛土 (3.2.3) (表3.2.1)	種類 ◎A種 ◎B種 ◎C種 ◎D種 ・建設汚泥から再生した処理土 ◎	
② 建設発土の処理	2	※現場説明書による ◎構外搬出適切処理 (3.2.5) ・構内指示の場所にたい積 ・構内指示の場所に敷き均し 建設発土は、鎌ヶ谷市切通808、片道運搬距離10kmの三倍建設(株)に搬出するものとする。 工事発注後、上記の指定処理により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。 片道運搬距離は積算上処理分区ごとに代表地点から算出した距離であり、実際の運搬距離と差異が生じる場合においては、設計変更の対象としない。 搬出の際は、平成3年環境庁告示第46号付表に定める方法により検液を作成し、計量した結果の結果証明書を提出しなければならぬ。 なお、計量する対象は、付表に定める溶出試験28項目、含有量試験2項目とする。	
4	1	既設コンクリート杭地業 (4.3.1~2)	
① 種類	2	種類 ◎SRC杭(上杭) PHC杭(下杭) (4.3.1~2)	
② 試験値	2	試験値 杭径(mm) 杭長(m)及び種別 継手数 セット数 備考 (4.3.7)	
③ 本杭	2	杭の処理 ※切断しない ・バイススタッド工法 (4.3.7) 先端部形状 ※開散形 ・閉そく平たん形 (4.3.2) 杭の継手 建築基準法に基づく指定又は認定を受けた継手を使用してもよい。(無溶接継手) (4.3.6) 施工法 ・特定埋込み杭工法 (4.3.3~5) ・フレポーリング拡大掘削工法 ・中掘拡大掘削工法 工法 H130関文告1113号第6による支持力算定式でα=250程度を採用できる工法 杭間固定液 ・使用する	
セメントの種類	2	6章コンクリート工事のセメントの種類による (4.5.3) (表4.5.1)	
① 種類	2	コンクリートの種別及び設計基準強度 ( )種かつ( )N/mm <sup>2</sup> 以上 (4.5.3) (表4.5.1)	
② 鉄筋の種類	2	5章鉄筋工事の鉄筋の種類による (4.5.3) (表4.5.1)	
③ 組立方法	2	・アースドリング工法(孔内の水張 ・行う ・行わない) (4.5.5) ・リバー工法 ・オールケーシング工法(孔内の水張 ・行う ・行わない) (4.5.5) ・場所打ち鋼管コンクリート杭工法 ・拡径杭工法(※安定液使用 )	
④ 傾斜測定	2	・行う ( ) ・行わない (4.5.4)	
セメントの種類	2	6章コンクリート工事のセメントの種類による (4.5.3) (表4.5.1)	
① 種類	2	コンクリートの種別及び設計基準強度 ( )種かつ( )N/mm <sup>2</sup> 以上 (4.5.3) (表4.5.1)	
② 鉄筋の種類	2	5章鉄筋工事の鉄筋の種類による (4.5.3) (表4.5.1)	
③ 組立方法	2	・アースドリング工法(孔内の水張 ・行う ・行わない) (4.5.5) ・リバー工法 ・オールケーシング工法(孔内の水張 ・行う ・行わない) (4.5.5) ・場所打ち鋼管コンクリート杭工法 ・拡径杭工法(※安定液使用 )	
④ 傾斜測定	2	・行う ( ) ・行わない (4.5.4)	

① 砂利地業 ※再生クラッシュサン 〇 切込み砂利及び切込み砕石 (4.6.3)

4 床下防湿層 施工箇所 (4.6.5)

⑤ 捨てコンクリート 無筋コンクリート 50mm (4.6.4)

5 鉄筋工事

① 鉄筋の種類 (5.2.1) (表5.2.1)

種類の記号	呼び名(mm)
◎10295A	※D16以下 ◎13 ◎10
◎S0345	※D19以上
◎溶接金網	Φ6 150×150

② 鉄筋の継手 呼び名16mm以下の柱、梁の主筋 ※ガス圧接 ◎電機継手 (5.3.4)

③ 鉄筋の最小かぶり厚さ 最小かぶり厚さは目地底から算定する。  
・耐久性上不利な箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による。 (5.3.5)

施工箇所	標準値5.3.6の値に追加する寸法(mm)
・柱、梁、壁及び庇などの外気に接する打放し面	※10 ・25

4 既設コンクリート杭の杭頭補強 ・A形 ・B形 ※図示 (5.3.1) (別1.1)

5 最上階柱頭補強 ※行う ・行わない (別2.1)

6 帯筋 ※H形(口は除く) (別2.2)

⑦ 壁開口部の補強 一般壁 ・A形 ※B形 ・図示 (別4.2) (別表4.3~4)

⑧ 梁貫通孔の補強形式 ※H形 ・MH形 ・M形 (別7.1) (別表7.1~3)

9 機械吊上用フック ・A種 ・B種 ・C種 (ヶ所) (別7.3)

10 圧接完了後の試験 ※超音波探傷試験 ・引張試験 (5.4.9)

6 ① 普通コンクリートの設計基準強度 (6.2.2)

設計基準強度F <sub>cd</sub> (N/mm <sup>2</sup> )	施工箇所
◎D1	基礎、土間コンクリート
◎D8	捨てコンクリート

軽量コンクリート ・18 気乾比重 1.85

② レディーミクスト コンクリートの種類 ※I類 ・II類 (6.2.2) (6.4.1~2) (表6.2.1)

③ スラップ 18 cm (6.2.4)

④ セメントの種類 (6.3.2) (6.13.2) (表6.3.1)

※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種  
・高炉セメントB種 ◎ ( )

普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。

水和熱	7d	35d	U/g以下
	28g	402	J/g以下

⑤ 骨材の種類 (6.3.1) (6.5.4)

※A  
・B (コンクリート中のアルカリ総量Rt=3.0kg/m<sup>3</sup>以下)

⑥ 混和材料 ※混和剤 ・混和材 (6.3.2) (6.4.8)

⑦ 無筋コンクリート 設計基準強度 ※18N/mm<sup>2</sup> (6.14.3)

8 コンクリート躯体表面の処理 外装タイル後張り面の躯体表面の処理  
MCR工法を行う場合は、せき板面にMCR工法用気泡ポリエチレンシート張りとし、仕上り面凹凸状態とする。高圧水洗工法の見直しを行う場合は、水圧50N/mm<sup>2</sup>以上かつ、2.5分/m<sup>2</sup>以上とし、施工計画書を監督に提出し承諾を受ける。また、目視の状態は、事前に監督職員に承諾を受ける。  
コンクリートの増打ち厚さ ※20mm ・25mm  
※施工範囲は図示による。

⑧ 断熱材兼型枠 適用及び適用箇所について 標仕19章内装工事14断熱材による。 (6.9.3) (表6.9.2)

⑨ コア1打放し仕上げ ※B種 (表6.2.4)

⑩ その他 ※ 型枠に使用するセパレーターは止水用のものとする。  
※ コンクリートの強度試験 (調査管理強度の管理試験用) を行う。 (6.9.3) (表6.9.2)

工事名	21世紀の森と広場西口トイレ改築工事		
図面名	特記仕様書 I		
作成年月日	令和7年8月1日	変更年月日	
縮尺	no scale	図面番号	A-02
松戸市 街づくり部 建築保全課			

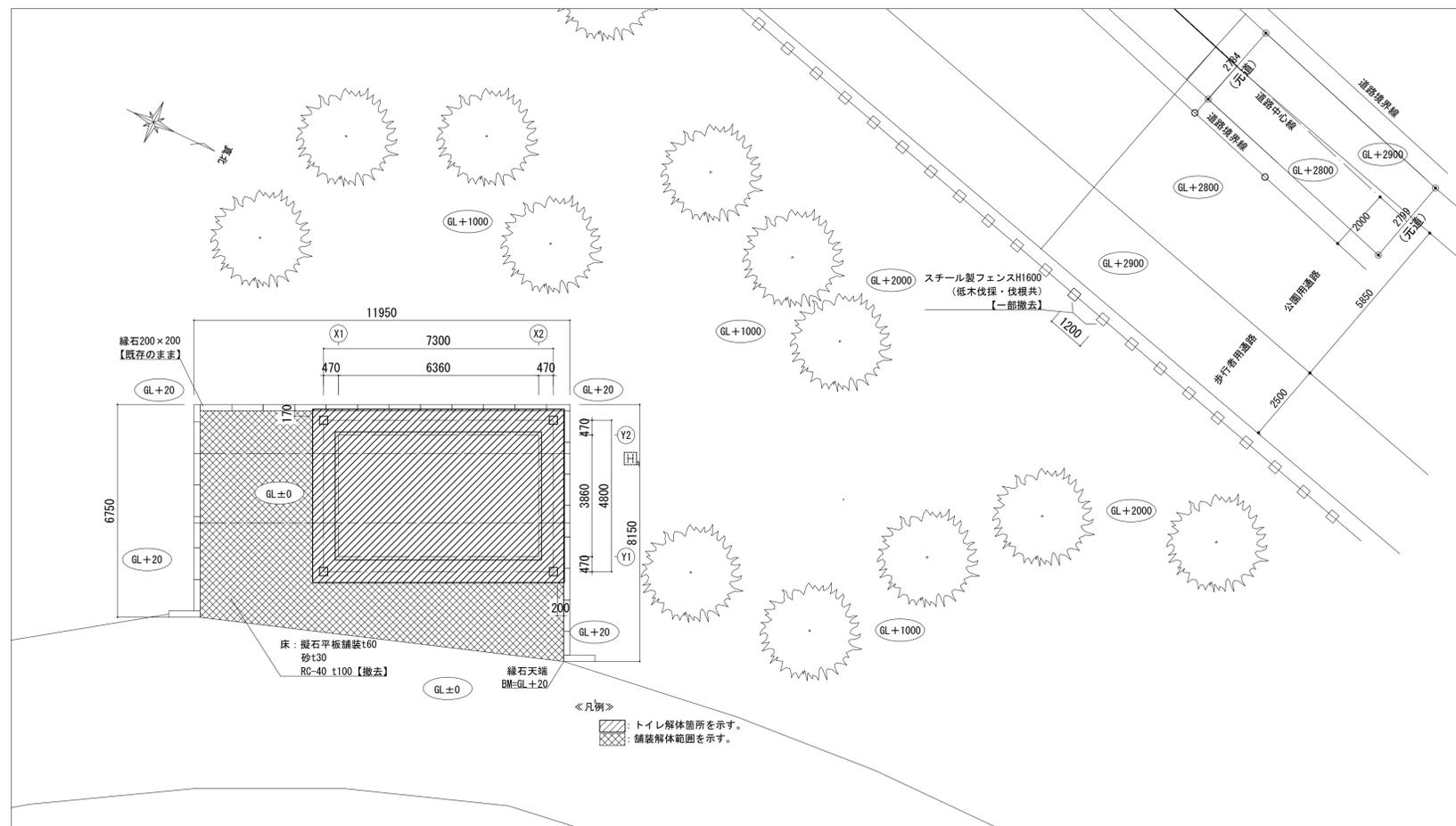
防水工事	1 アスファルト防水	(9.2.2~3) (表9.2.3~8)	種別 ※A1-2 ・A-2 ・D-2 ・B1-2 床型特用鋼製デッキプレートを使用したコンクリートスラブ	施工箇所
	2 改質アスファルトシート防水	(9.3.2~4) (表9.3.1)	種別 ※A-1 ・AS-1 ・AS-2	厚さ
	3 合成高分子系ルーフィングシート防水	(9.4.2~3) (表9.4.1)	種別 ・S-F2 ※1.2 ・S-F2 ※1.2 ・S-M1 ※1.5 ・S-M2 ※1.5	厚さ (mm)
	4 塗膜防水	(9.5.2~3) (表9.5.1~2)	種別 ・ポリマーセメント系 ・X-1 ・Y-1 ・Y-2	施工箇所
	5 シーリング	(9.6.2) (表9.6.1)	施工箇所	シーリング材の種類 (記号)
タイル工事	1 陶磁器質タイル	(11.2.1)	タイルの種類	形状寸法 (mm)
	2 張り付け用材料	(11.2.3)	既成調合モルタル	保水率 (%)
	3 壁タイル張りの工法	(11.3.3) (表11.3.2)	内装タイル	※壁タイル接着剤張り
	4 陶磁器質タイル型枠先付け工法	(11.2.2) (11.4.2) (表11.4.1)	種別	※タイルシート法
屋根及びびき工事	1 長尺金属板葺	(13.2.2~3) (表13.2.1)	屋根葺形式	長尺金属板の種類
	2 折板葺	(13.3.2~3) (表13.2.1)	形式	※重ね形
	3 とい	(13.5.2) (表13.5.1)	材種	※配管用鋼管

コンクリート・ブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	1 補強コンクリートブロック造	(8.2.2)	※空洞ブロック16	・空洞ブロック16-W
	2 コンクリートブロック塀壁及び礎	(8.3.2)	※仕様表8.3.1及び下表による	適用箇所
	3 ALCパネル	(8.4.2~6) (表8.4.3~4)	種別	単位荷重 (N/m <sup>2</sup> )
	4 押出成形セメント板 (EOP)	(8.5.2~6) (表8.5.1~2)	種別	表面形状
金属工事	1 ステンレスの表面仕上げ	(14.2.1)	種別	施工箇所
	2 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理	(14.2.2) (表14.2.1)	種別	施工箇所
左官工事	1 モルタル塗り材料	(15.2.2)	吸水調整材	全面形 (%)
	2 床コンクリートの直均し仕上げ	(表6.2.4) (15.3.1~2)	種別	仕上がり形状等
	3 仕上塗材仕上げ	(15.5.2) (表15.5.1)	種別	呼び名
	4 コンクリート打直し面補修		種別	呼び名

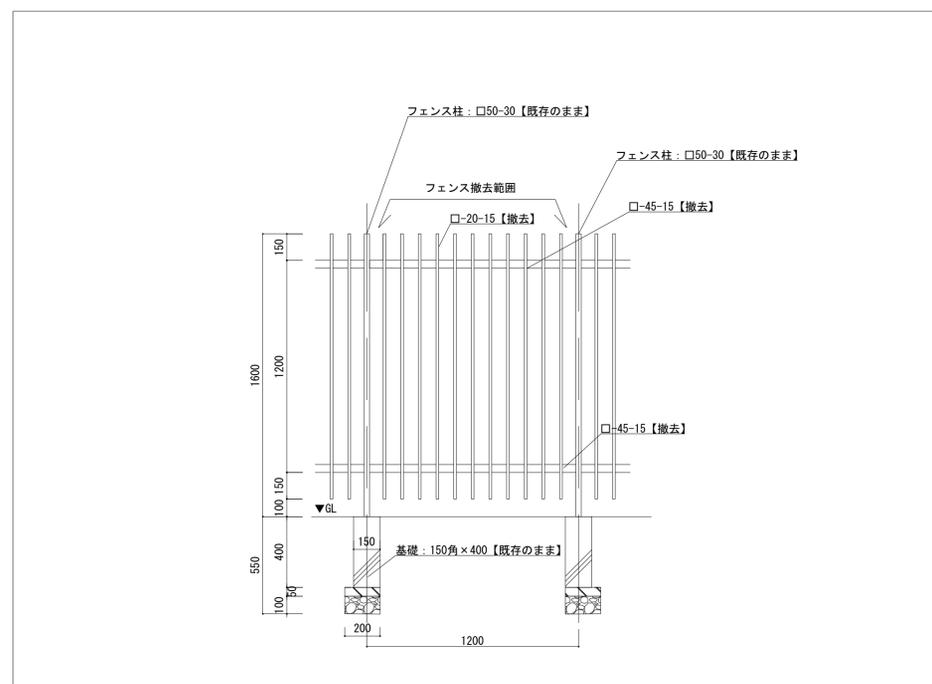
ユニットイレユニット及びその他の工事	① ユニットイレ	RFCユニットイレ躯体完成品 (基礎を除く)	仕様表	名称
	水飲み場	既製品タイプ (ユニットイレを含む)	手洗い け所	名称
				数量
				名称
				数量
	2 水飲み場	既製品タイプ (ユニットイレを含む)	手洗い け所	
	3 バリカー	材質 スチール製 (表面: 溶融亜鉛メッキ仕上)	形式 A-1型	
	4 旗竿受金物	材質 ステンレス製 SUS304	仕様	
	5 フェンス	材質 アルミ・ステンレス	クリアランス	
	6 ポスターケース	材質 紙	仕様	
	7 サイン	材質、形状、寸法	は設計図による。	
	8 造り付け家具	材質、形状、寸法	は設計図による。	
	9 エキスパンション・ジョイント金物	材質 アルミ・ステンレス	クリアランス	
	10 押し型デザイン床	パターンマット (木目押し型)	デザインシート (ABC商會) 同等品。	
11 OHPスクリーン	手動式、スプリング式 W1800 (アルミ製BOX共)			
12 黒板	ホロー仕上げ、形状、寸法	は設計図による。		
13 掲示板	単体製品 (アルミ枠) 及び現場造作 (設計図による)	共ソフトベニア+発泡シート張り。		
14 避難器具	設置場所: 3階、2ヶ所	オリロー折りたたみはしご8型及び収納BOX。		
15 収納棚	設置場所: 木工室準備室 (1)	W800×D455×H2105		

舗装工事	1 盛り土に用いる材料	・A種 ※B種	・C種	・D種	(22.2.3) (表3.2.1)
	2 道断面及び凍上抑制層の材料	・道断面	※川砂、海砂又は良質な山砂	・凍上抑制層	※再生クラッシュラン
	3 路床安定処理	※添加材料による安定処理	種類	・普通ポルトランドセメント	・フライアッシュセメントB種
	4 路床土の支持力比試験	※行う (※乱した土	・乱さない土)		
	5 路床固め度の試験	※行う			
	6 路盤材料	※砕石再利用			
	7 アスファルト舗装	舗装の種類	車道部の基層	カラー舗装の種類	
	8 コンクリート舗装	早強セメント	※使用しない	・使用する	
	9 透水舗装	アスファルト混合物の抽出試験	※行わない	・行う	
	10 排水舗装	アスファルト混合物	改質アスファルトI型	改質アスファルトII型	
	排水工事	1 排水管	排水管用材料	材種	管の種類
		2 排水樹及びふた	種別	適用箇所	
		3 埋戻し	※B種		
		4 浸透管及び浸透柵	製造所		

工事名	21世紀の森と広場西口トイレ改築工事
図面名	特記仕様書 II
作成年月日	令和7年8月1日 変更年月日
縮尺	no scale 図面番号 A-03
松戸市 街づくり部 建築保全課	

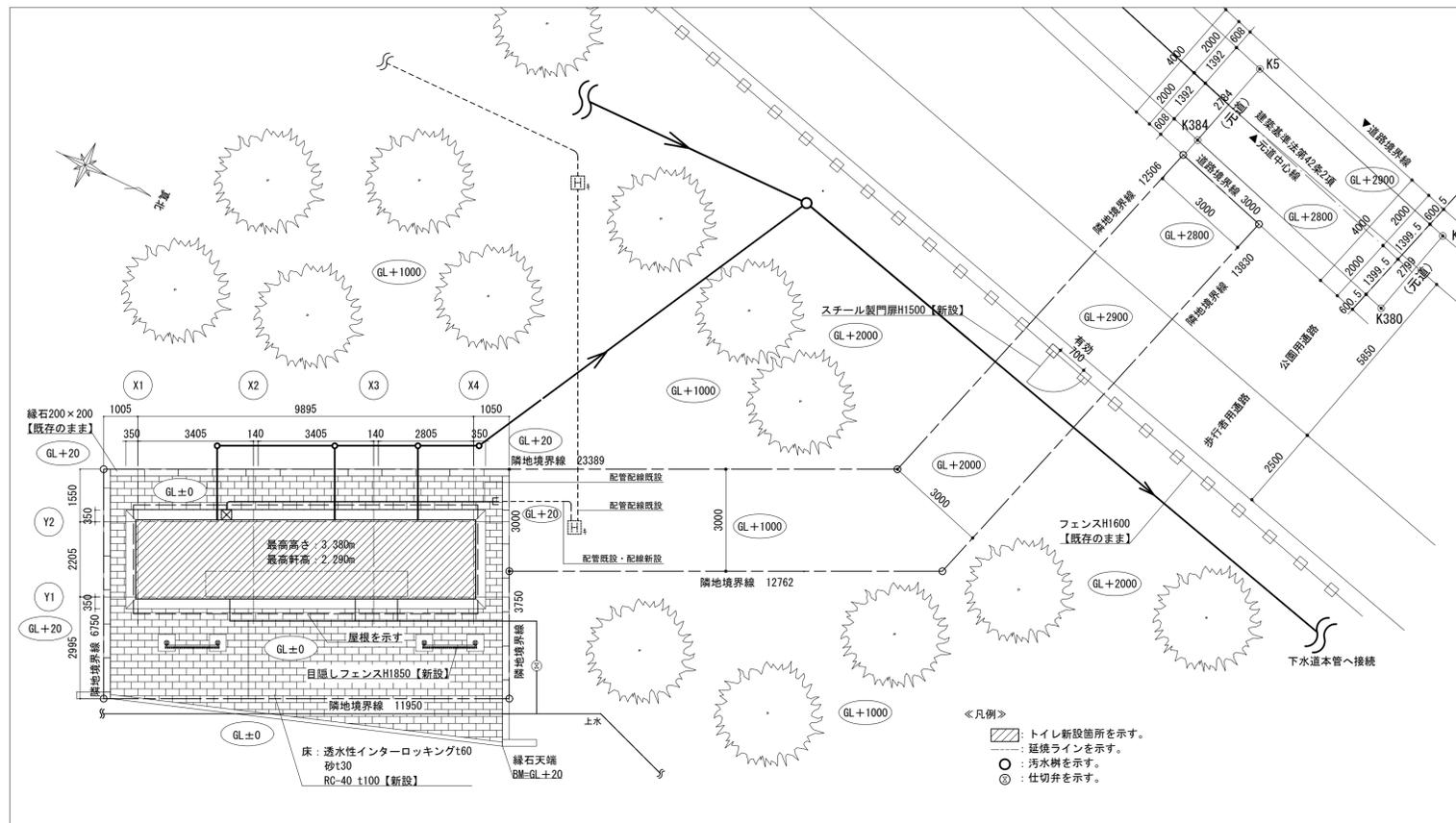


配置計画図 (改修前) S=1:100



フェンス詳細図 (改修前) S=1:20

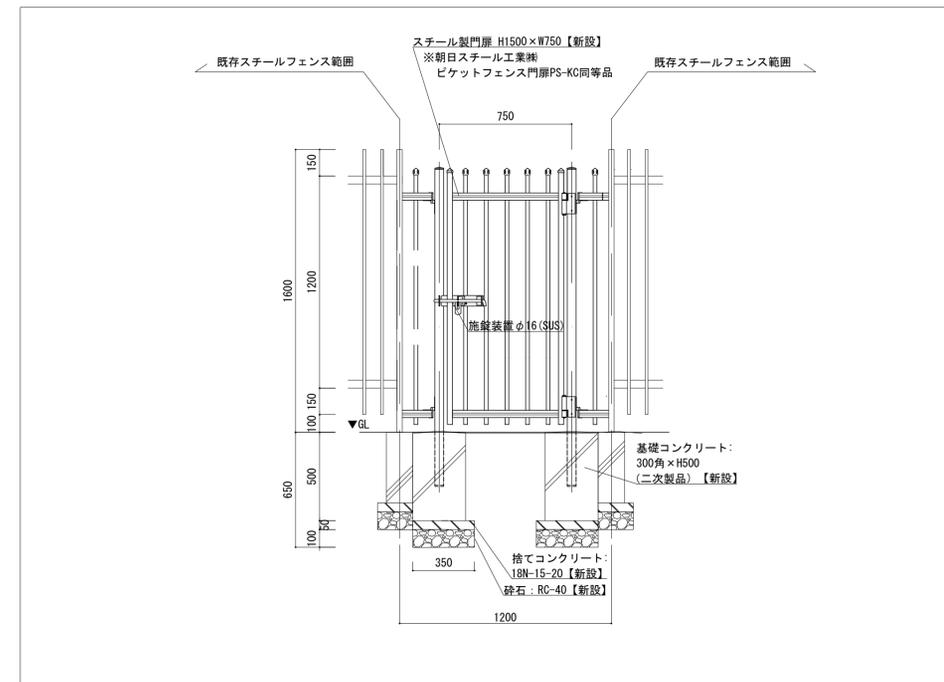
工事名	21世紀の森と広場西口トイレ改築工事		
図面名	配置計画図(改修前)、フェンス詳細図		
作成年月日	令和7年8月1日	変更年月日	
縮尺	1:20 1:100 (A1) 1:40 1:200 (A3)	図面番号	A-04
松戸市 街づくり部 建築保全課			



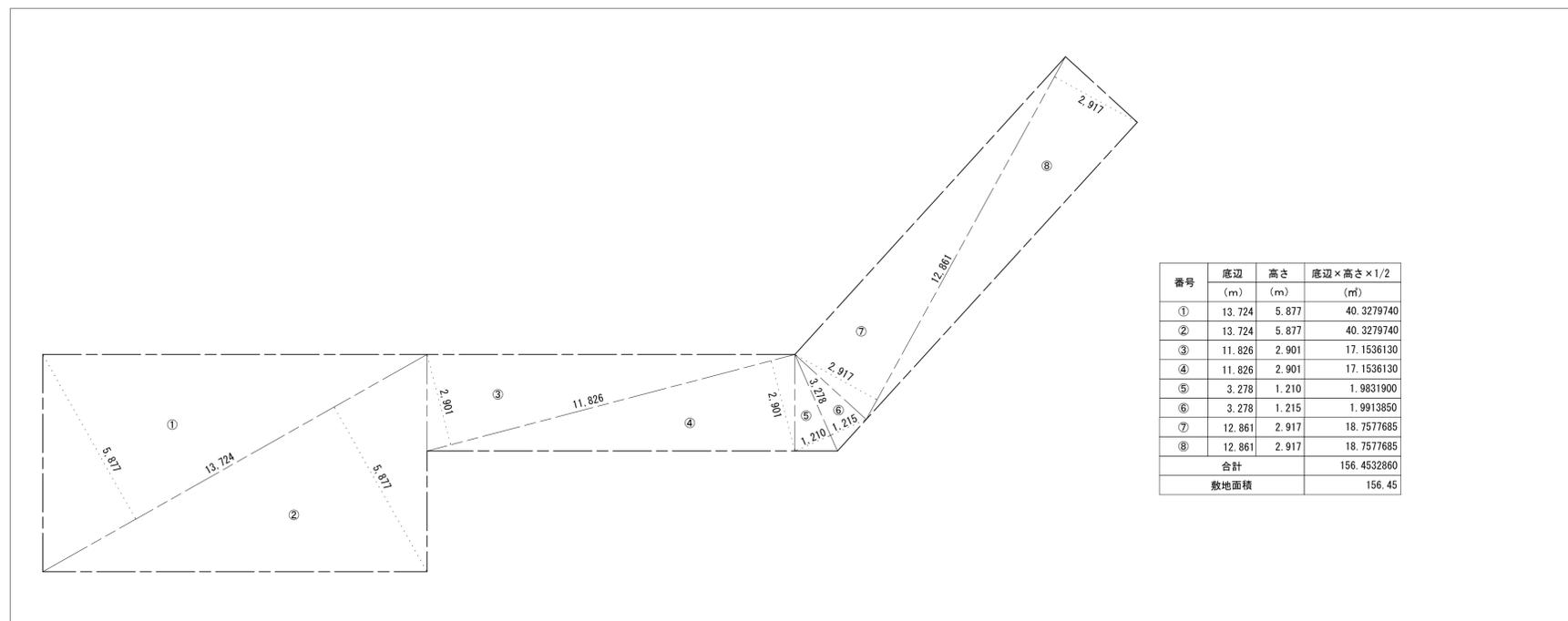
配置計画図 (改修後) S=1:100

- 《凡例》
- ▨: トイレ新設箇所を示す。
  - - -: 延長ラインを示す。
  - : 汚水樹を示す。
  - ⊙: 仕切弁を示す。

※平均GLの発生なし  
 ※道路斜線・隣地斜線は自明のため省略  
 ※建築材料にはアスベストを使用しない  
 ※地耐力30kN/m以上  
 ※指定建築材料は法37条に適合するものとする。  
 ※基礎は構造計算による



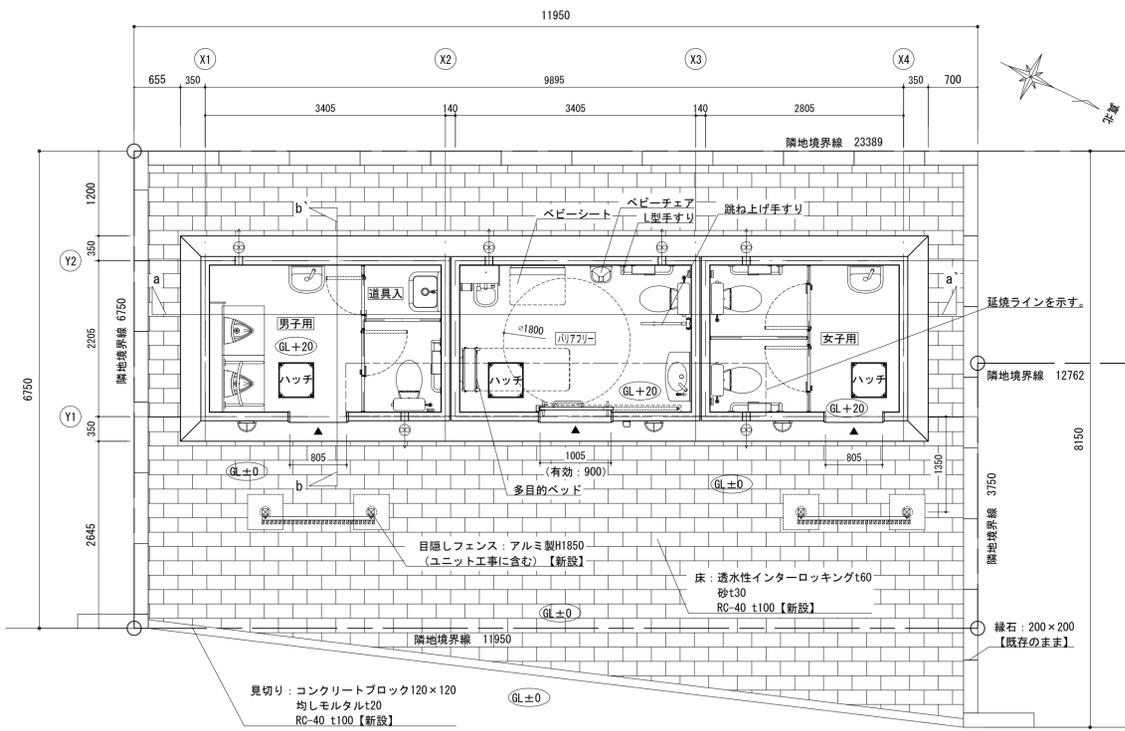
フェンス門扉詳細図 (改修後) S=1:20



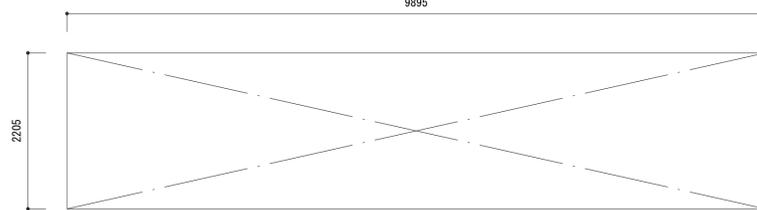
敷地求積図 S=1:100

番号	底辺	高さ	底辺×高さ×1/2
	(m)	(m)	
①	13.724	5.877	40.3279740
②	13.724	5.877	40.3279740
③	11.826	2.901	17.1536130
④	11.826	2.901	17.1536130
⑤	3.278	1.210	1.9831900
⑥	3.278	1.215	1.9913850
⑦	12.861	2.917	18.7577685
⑧	12.861	2.917	18.7577685
合計			156.4532860
敷地面積			156.45

工事名	21世紀の森と広場西口トイレ改築工事		
図面名	配置計画図(改修後)・敷地求積図 フェンス門扉詳細図(改修後)		
作成年月日	令和7年8月1日	変更年月日	
縮尺	1:20 1:100 (A1) 1:40 1:200 (A3)	図面番号	A-05
松戸市 街づくり部 建築保全課			



平面詳細図 S=1:50



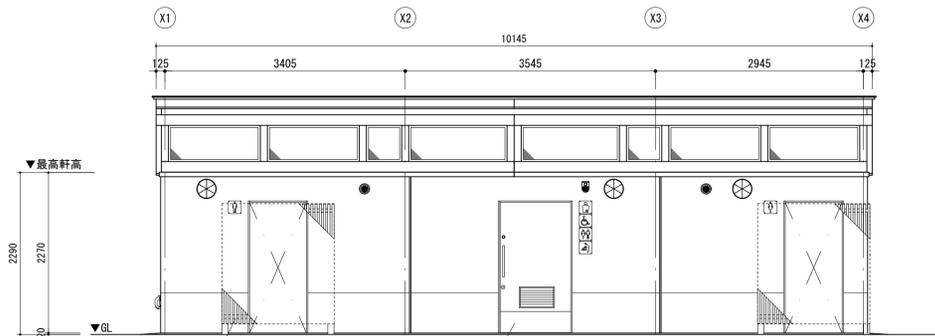
計算式	延床面積・建築面積
9.895 × 2.205 = 21.818	21.81㎡

建築物求積図 S=1:50

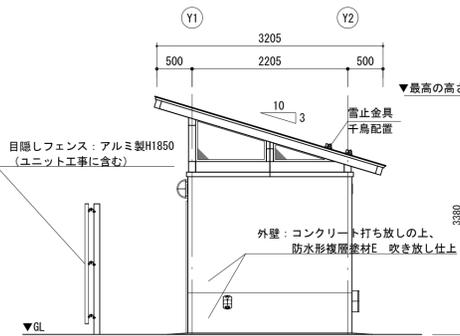
仕上表

名称	使用材料	色影計画(色・品番)
屋根	ガルバリウム鋼板 嵌合式立平葺(3寸勾配)	F S プラウン
小屋根	鉄骨造:ウレタン塗装	SR-402
軒裏	軒天サイディング t5	サンドグレー
外壁	RC造 防水形複層塗材E 吹放し仕上 (2色分け)	上: SR-104・下: SR-402
採光	ポリカーボネート t5	耐候(両面) 透明両面マット
換気	パイプ用ファン 人感センサータイプ・24H換気機能付	
	SUS製ガラリ φ100	シルバーメタリック
天井	軒天サイディング t5	サンドグレー
内壁	上部: 防水形複層塗材E 吹放し仕上 (FL+300以上)	アイボリー (SR-164)
	下部: 内装用100角タイル張り (FL+300迄)	IM-100P1/NY2H
床	床用100角タイル張り	ALS-100/3
男子用	入口三方枠: SUS製 (HL)	
	ブース:メラミン化粧板 扉有効幅600	アイボリー
	スライドラッチ (表示・非常解放付)	
バリアフリー	道具入:メラミン化粧板 扉有効幅500 管理錠付	アイボリー
	入口三方枠: SUS製 (HL)	
	ハンガードA: 溶融亜鉛メッキ鋼板 (焼付塗装)	アイボリー
	アルミ製換気ガラリ・管理錠付	
	キックガード (内外)	
	金物: SUS製引手 (屋内のみ水平バー)	
	非常開錠装置表示装置 (屋外)・大型サムターン (屋内)	
女子用	入口三方枠: SUS製 (HL)	
	ブース:メラミン化粧板 扉有効幅600	アイボリー
	スライドラッチ (表示・非常解放付)	

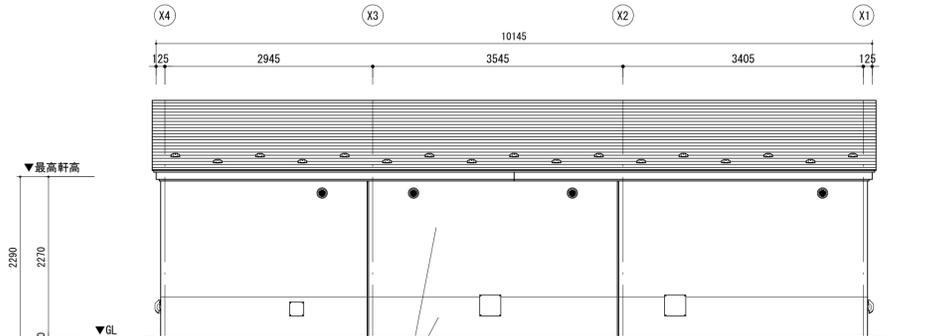
※トーヨーマテラン(株)TB-87-59-137同等品以上とする。(目隠しフェンス含む)  
 ※一般建築士事務所登録メーカーの製品とする。  
 ※建築業許可を有するメーカーの製品とする。  
 ※JDF A(一社)日本公園施設業協会 公園施設団体賠償責任保険加入製品とする。  
 ※国際規格ISO9001、ISO14001認証登録メーカーの製品とする。  
 ※目隠しフェンスは、アルミ成型材の木粉入り樹脂コーティング処理品とする。



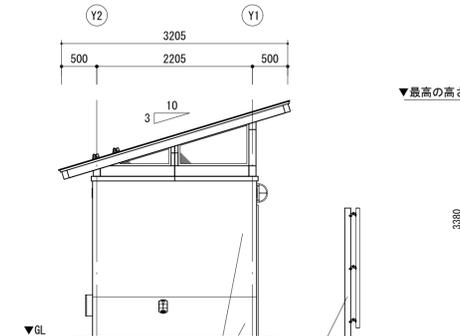
立面図(北東面) S=1:50



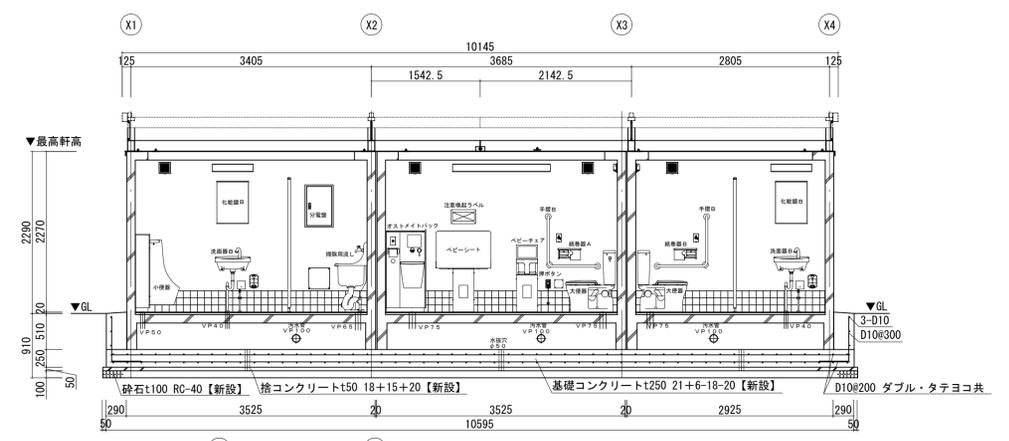
立面図(北西面) S=1:50



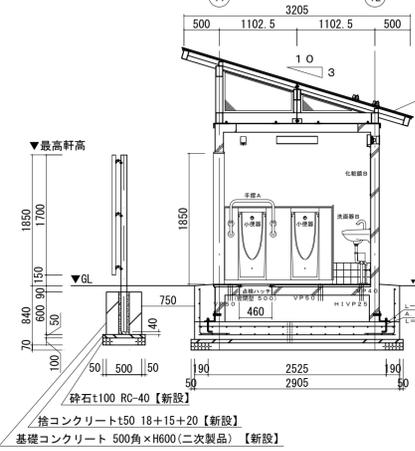
立面図(南西面) S=1:50



立面図(南東面) S=1:50



a-a'断面図 S=1:50



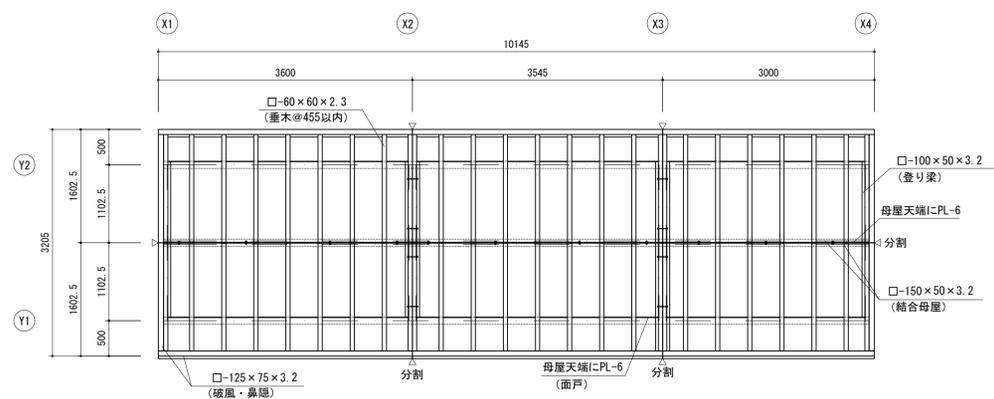
b-b'断面図 S=1:50

屋根:ガルバリウム鋼板葺  
 アスファルトルーフィング  
 耐水合板t12  
 軒天サイディングt5  
 垂木:□60×60×2.38455

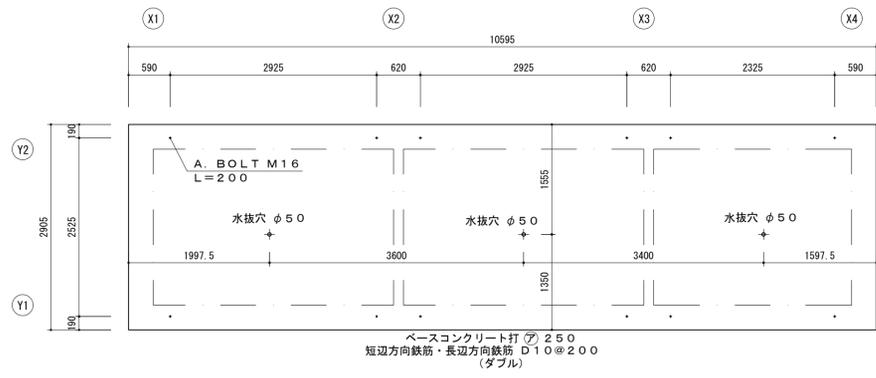
外壁  
 タチ筋: D10@200  
 ヨコ筋: D10@200  
 コーナ筋: D13  
 端部・開口部補強筋: D13  
 防水形複層塗材E 吹放し仕上

床  
 短辺: D13@200  
 長辺: D13@200  
 コンクリート打 t=120  
 モルタル敷 t=20  
 床用100角タイル張り

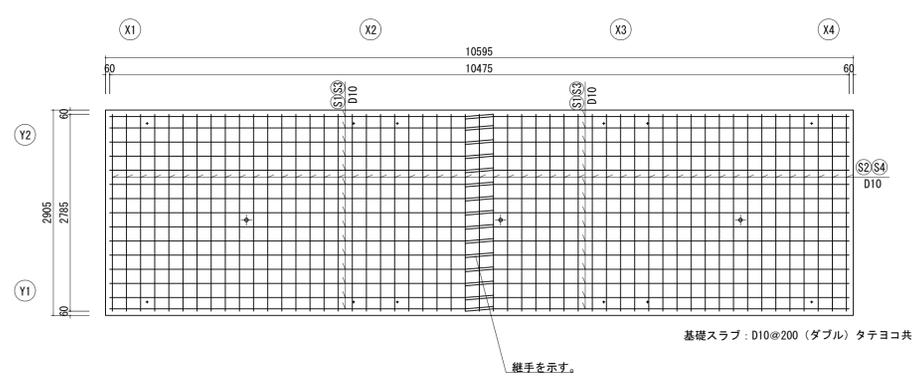
工事名	21世紀の森と広場西口トイレ改築工事		
図面名	平面詳細図・立面図・断面図・仕上表		
作成年月日	令和7年8月1日	変更年月日	
縮尺	1:50 (A1)	図面番号	A-06
	1:100 (A3)		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



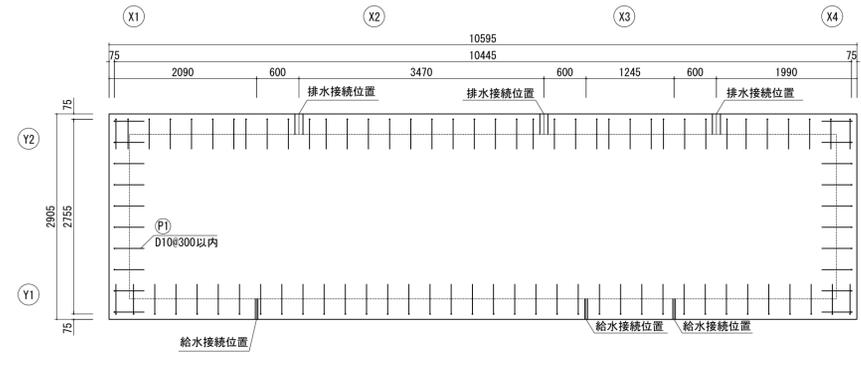
小屋伏図 S=1:50



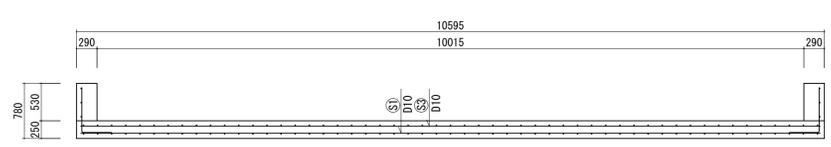
基礎伏図 S=1:50



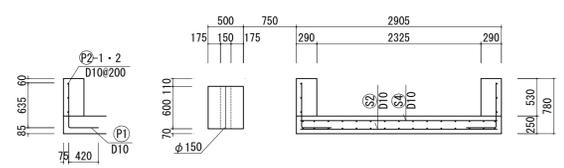
基礎平面配筋図 S=1:50



基礎立上り配筋図 S=1:50

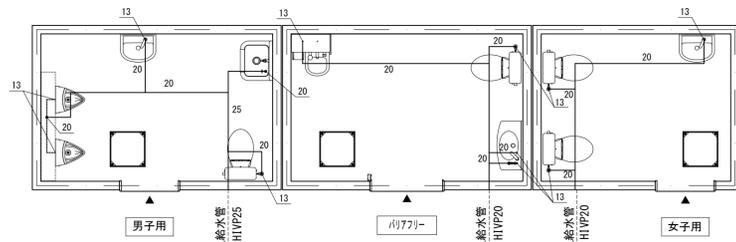


Y方向断面配筋図 S=1:50

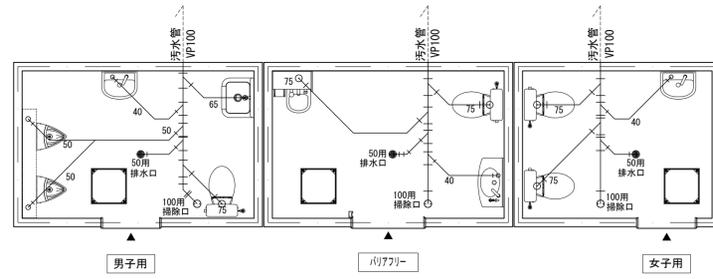


X方向断面配筋図 S=1:50

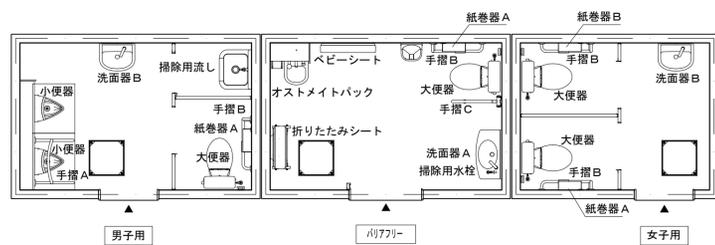
工事名	21世紀の森と広場西口トイレ改築工事		
図面名	構造図		
作成年月日	令和7年8月1日	変更年月日	
縮尺	1:50 (A1)	図面番号	A-07
松戸市 街づくり部 建築保全課			



給水設備図 S=1:50  
給水管管芯 GL-220  
※床下給水管はポリエチレンフォーム保温筒巻きとする。  
※床下配管の吊り金具はユニクロメッキ仕上とする。



排水設備図 S=1:50  
汚水管管底 GL-410  
※床下配管の吊り金具はユニクロメッキ仕上とする。

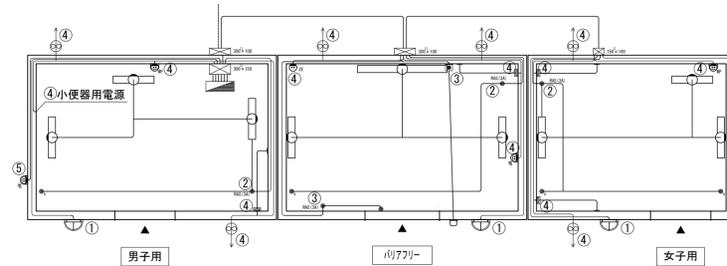


衛生設備図 S=1:50

衛生設備表

名称	品番	数量	消費電力	消費電力×台数
大便器	CS597BCS	TOTO 4		
ロータンク	SH596BAYR	TOTO 4		
普通便座(丸前・塞付)	TC301	TOTO 4		
センサースイッチ	HE37	TOTO 4	3.0W	12.0W
小便器(100V)	UFS900JS	TOTO 2	2.4W	4.8W
床検口付ライニング	UAUN72SB1W	TOTO 1		
側板	UTR143	TOTO 1		
汚重石	IPF-860	LIXIL 2		
洗面器A	L270D	TOTO 1		
自動水栓(100V)	TLE28SS1A	TOTO 1	5W	5W
洗面器B	L210D	TOTO 2		
自動水栓(100V)	TLE28SS1A	TOTO 2	5W	10W
オストメイトバック	UAS81RDB1W	TOTO 1	6.30W	6.30W
側板	UTR141	TOTO 1		
掃除用流水	SK22A	TOTO 1		
横水栓	T23AE20C	TOTO 1		
掃除用水栓	T28AKUH13	TOTO 1		
紙巻器A	YH191KL	TOTO 3		
紙巻器B	YH191KR	TOTO 1		
化粧鏡A(600×900)	YM550FE YH0RAX	TOTO 1		
化粧鏡B(450×600)	YM4500FE	TOTO 5		
折りたたみシート	EWCS00RN	TOTO 1		
ベビーシート	YKA25S	TOTO 1		
手摺A	T112CU22	TOTO 1		
手摺B	T112CL10	TOTO 4		
手摺C	T112HK7R	TOTO 1		
衛生器具消費電力合計			81.3W	

※衛生器具のカラーは(#NW1:ホワイト)とする。 衛生器具消費電力合計 81.3W  
※手摺A・B・Cは樹脂被覆タイプとし、カラーはバステルアイボリー(#SC1)  
※大便器は掃除口付とする。



電気設備図 S=1:50

※P. BOXに接続する立上管は6管厚銅電線管とし、直管部分に防食テープを施工する。

警報ランプ付プザー作動形式

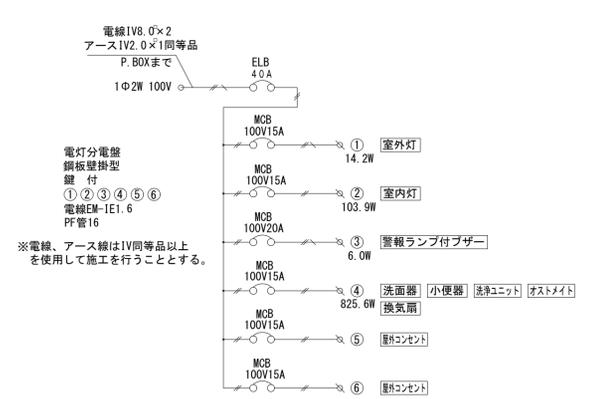
緊急時 非常用ボタン押す又はヒモを引く → 警報ランプ付プザー作動 → 解除: ドア開 → 警報ランプ付プザー停止  
防犯用 ① ドア開閉 → 入室無し → 警報ランプ付プザー作動無  
※1 ② ドア開閉 → 入室(熱線センサ感知) → タイマースタート(保持) → ドア開 退室(タイマー設定時間内) → タイマー停止 警報ランプ付プザー作動無  
③ ドア開閉 → 入室(熱線センサ感知) → タイマースタート(保持) → タイマーUP(30分) → 警報ランプ付プザー作動 → ドア開 → 警報ランプ付プザー停止  
※1 目的外利用による長期滞在を監視するシステムです。人命救助を目的としたシステムではありません。

照明器作動形式(セレクトスイッチ『入・切・自動』で制御)

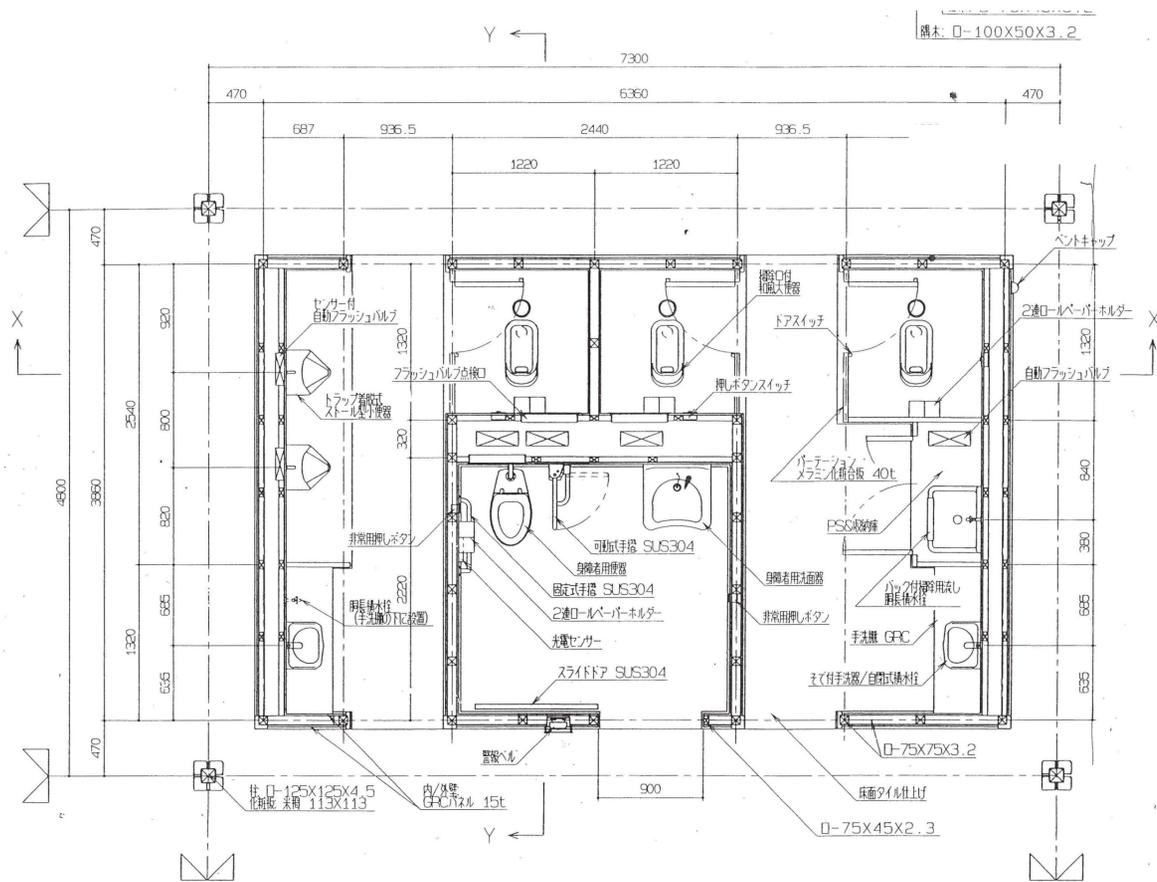
【室外灯】  
入: 強制的に室外灯を点灯  
切: 強制的に室外灯を消灯  
自動: タイムスイッチの設定時刻に点灯 → 設定時刻に消灯する  
※TB 251101N(2.4時間式・1回路型)  
【室内灯】  
入: 強制的に室内灯を点灯  
切: 強制的に室内灯を消灯  
自動: ソーラータイムスイッチの設定時刻内に入室 → センサー作動時照明器点灯 (動作保持時間10秒~30分) → 設定時刻後は消灯する  
→ 退室時、動作保持時間後消灯(設定時刻内は点灯・消灯の動きを繰り返す)  
※TB 251101N(2.4時間式・1回路型)  
◎室外灯・室内灯の消灯設定時刻は同時刻とする。

電気設備表

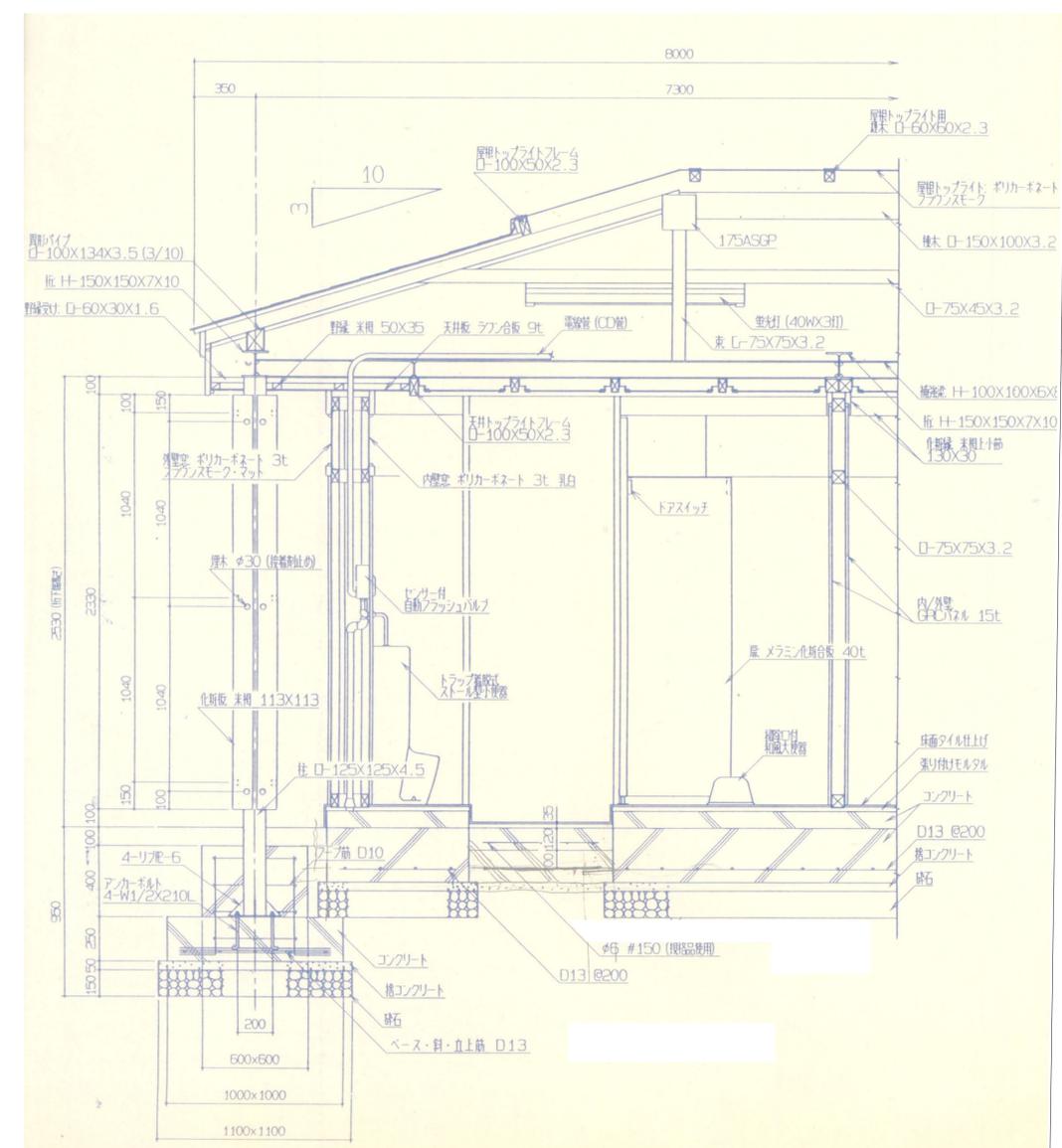
名称	品番	社名	数量	消費電力	消費電力×台数
分電盤ボックス	FX6040-14	河村電器産業	1		
漏電ブレーカ	ZL-62-40-15	河村電器産業	1		
ノーヒューズブレーカ	SE2P1E15S	河村電器産業	6		
ソーラータイムスイッチ(24時間・1回路型)	TB 251101N: 室外灯用	パナソニック	1	1.0W	1.0W
セレクトスイッチ3ノッチ: 壁フタ	AR22PR-311B: 室外灯用	FUJII	1		
ソーラータイムスイッチ(24時間・1回路型)	TB 251101N: 室内灯用	パナソニック	1	1.0W	1.0W
セレクトスイッチ3ノッチ: 壁フタ	AR22PR-311B: 室内灯用	FUJII	1		
SUS 防水フルボックス	300×300×150: 室内	八洲電工	1		
SUS 防水フルボックス	300×300×100: 室外	八洲電工	2		
SUS 防水フルボックス	150×150×100: 室外	八洲電工	1		
熱線センサ付自動スイッチ(親器)	WTK3431K	パナソニック	3	1.0W	3.0W
熱線センサ付自動スイッチ(子器)	WTK3911	パナソニック	4		
LEDブラケット	AU42393L	コイズミ	3	4.4W	13.2W
LEDウォールライト	NNFW21800K LE9	パナソニック	8	10.0W	80.0W
LEDウォールライト	NNFW41800C LE9	パナソニック	1	19.9W	19.9W
熱線センサ付自動スイッチ(親器)	WTK3431K: セキュリティ	パナソニック	1	1.0W	1.0W
警報ランプ付プザー	EAS501	パナソニック	1	5.0W	5.0W
埋込ブラッスイッチ付押ボタ	WS6571	パナソニック	1		
アースターミナル付防水コンセント	WK2111K: 自動水栓	パナソニック	3		
まもれーる・アルミ屋外くん	RDC60000SL	TERADA	3		
シングルコンセント	WK1001: リモコン洗浄	パナソニック	4		
人感センサ付バイブファンφ100	V-08PALD8	三菱電機	6	2.1W	12.6W
フル接地防水ダブルコンセント	WK4106K: 屋外コンセント	パナソニック	2		
まもれーる・アルミ屋外くん	RDC60000SL	TERADA	2		
電気設備消費電力合計				136.7W	
設備一式消費電力合計				949.7W	



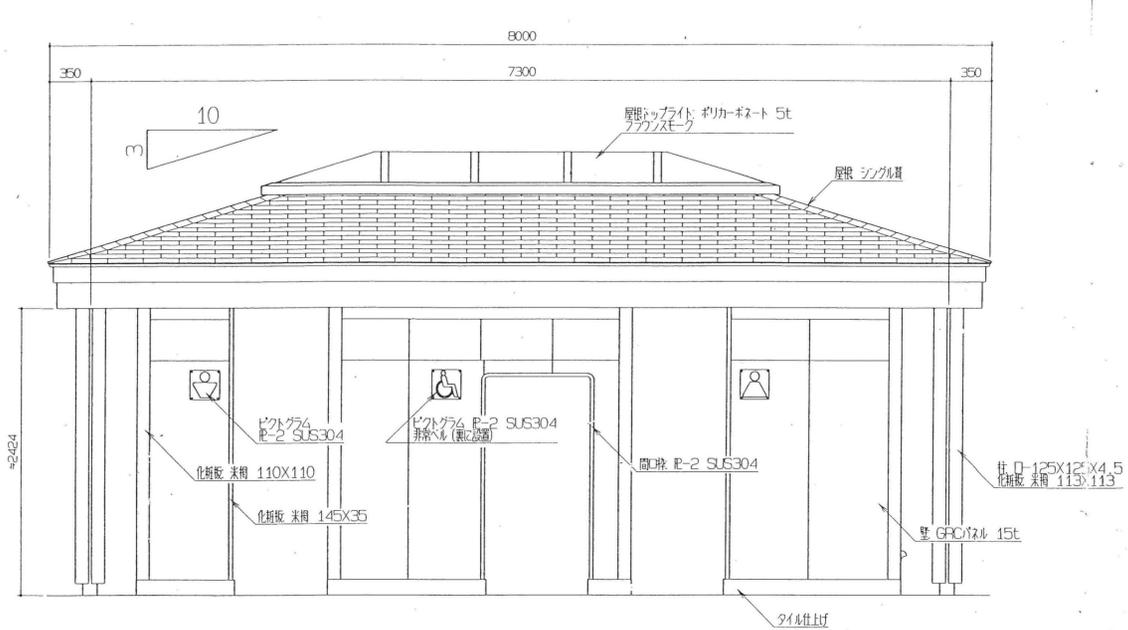
工事名	21世紀の森と広場西口トイレ改築工事		
図面名	トイレ設備図		
作成年月日	令和7年8月1日	変更年月日	
縮尺	1:50 (A1) 1:100 (A3)	図面番号	A-08
松戸市 街づくり部 建築保全課			



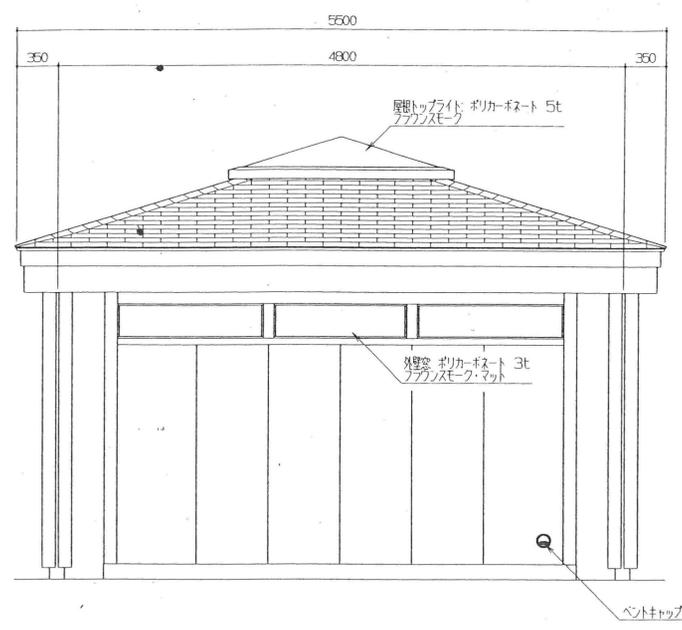
平面図 S=1:30



断面図 S=1:20



立面図（北東面） S=1:30



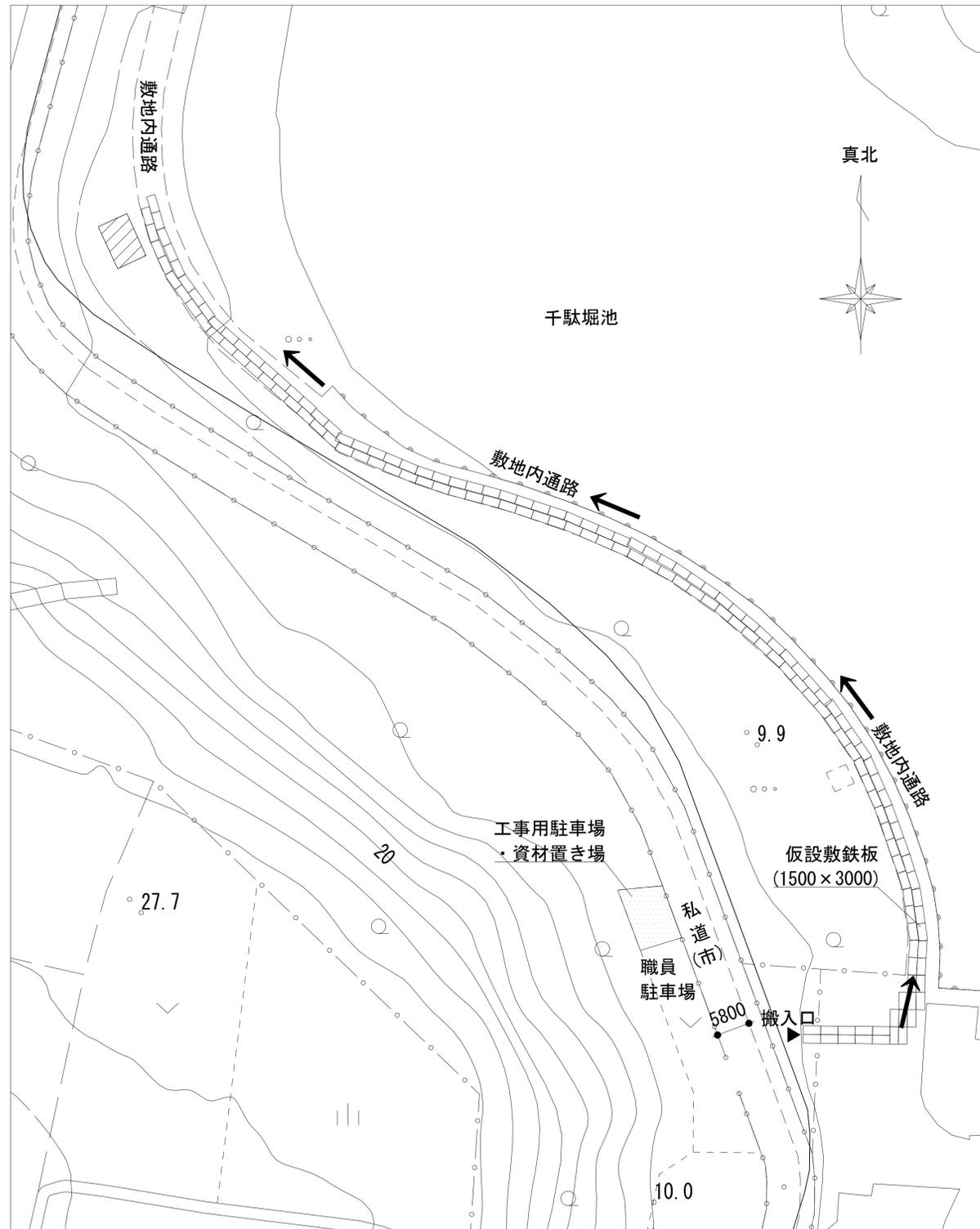
立面図（北西面） S=1:30

外部仕上り表		塗材77%含有の有無 (イペ A3)
屋根	化粧スレート平葺	無
トッパライト	ポリカーボネートt=5 フラッシュシート	—
外壁	GRCパネルt=15+吹付タイル	無
柱	化粧板 (米相) 張り 113×113	—
軒裏	ラワン合板t=9+吹付タイル	無

内部仕上り表		塗材77%含有の有無 (イペ A3)
天井	ラワン合板t=9+吹付タイル	無
内壁	GRCパネルt=15+吹付タイル	無
	GRCパネルt=15+磁器質タイル 100角	無
床	磁器質タイル 100角	—

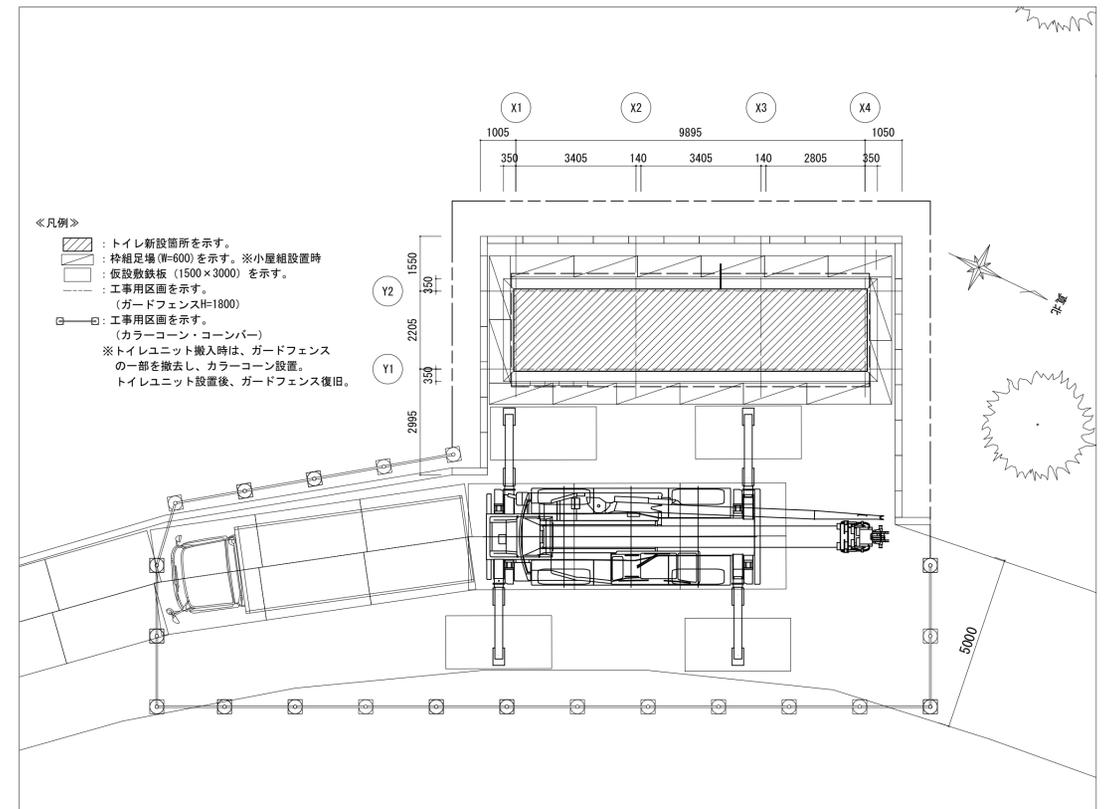
※建物構造：鉄骨造  
 ※撤去し整備を行うこと  
 ※撤去に伴う設備工事は電気、機械設備図に依る

工事名	21世紀の森と広場西口トイレ改築工事		
図面名	既存トイレ平面図、断面図、立面図		
作成年月日	令和7年8月1日	変更年月日	
縮尺	1:20 1:30 (A1)	図面番号	A-09
	1:40 1:60 (A3)		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

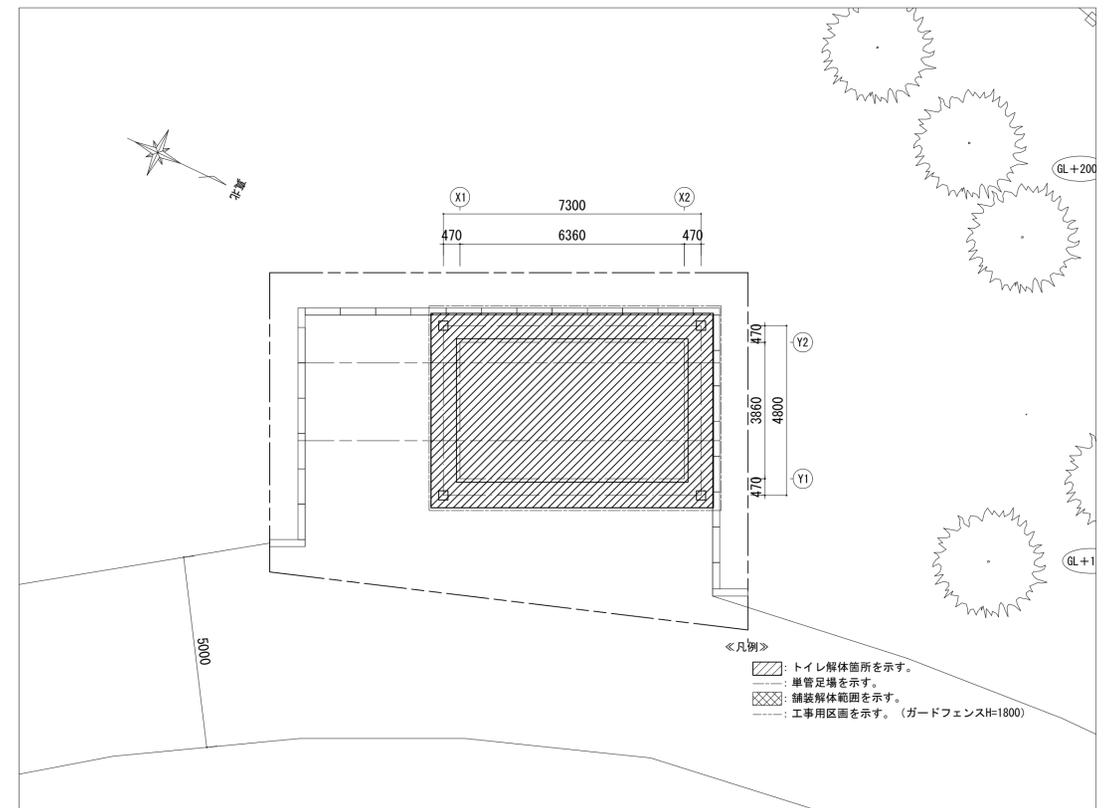


参考搬入経路図 S=1:500

- 《凡例》
- : 工事箇所を示す。
  - : 搬入経路を示す。



参考仮設計画図(新築) S=1:100



参考仮設計画図(解体) S=1:100

工事名	21世紀の森と広場西口トイレ改築工事		
図面名	参考仮設計画図		
作成年月日	令和7年8月1日	変更年月日	
縮尺	1:100 1:500 (A1) 1:200 1:1000 (A3)	図面番号	A-10
松戸市 街づくり部 建築保全課			



《電気設備工事概要》

電灯設備

ハンドホール（既設）からトイレ（既設）へ電源供給している配線を撤去し、  
 ハンドホール（既設）からトイレ（新設）へ電源供給するための配管配線を新設する。

受変電設備

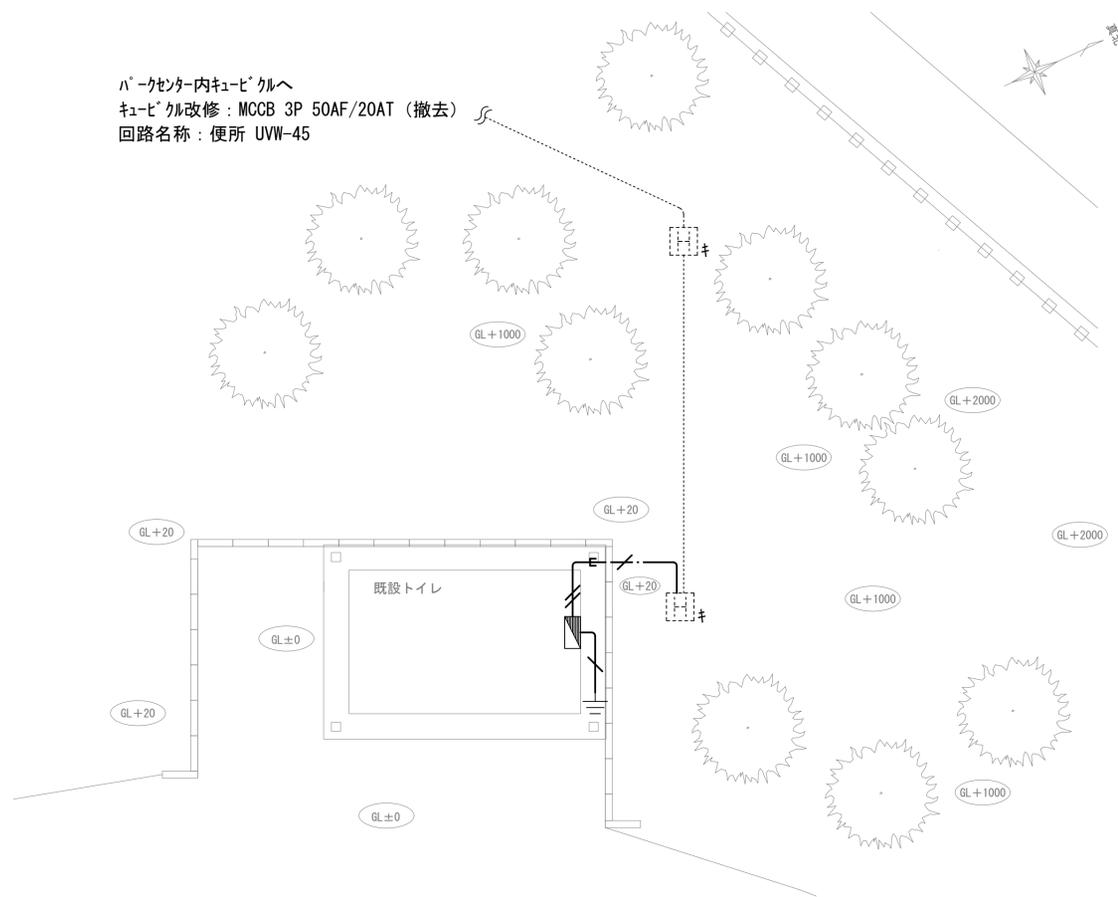
パーキングキュービクルのブレーカの撤去・新設をする。

【凡例】

記号	名称	備考
	分電盤	撤去
	ハンドホール	既設
	D種接地極	撤去
	CV38-3C (FEP50)	既設
	CV38-3C (FEP50)	配線のみ撤去
	CV38-3C (FEP50)	配管配線撤去
	IE2.0 (PF16)	配管配線撤去
	地中埋設配線	
キ	既設	

注記

1. 特記なき配管・配線は撤去とする。
2. パーキングキュービクル内ブレーカの撤去前に、配線がトイレ以外に繋がっていないことを確認すること。
3. パーキングキュービクル内ブレーカの撤去新設は、17時以降の停電工事とすること。



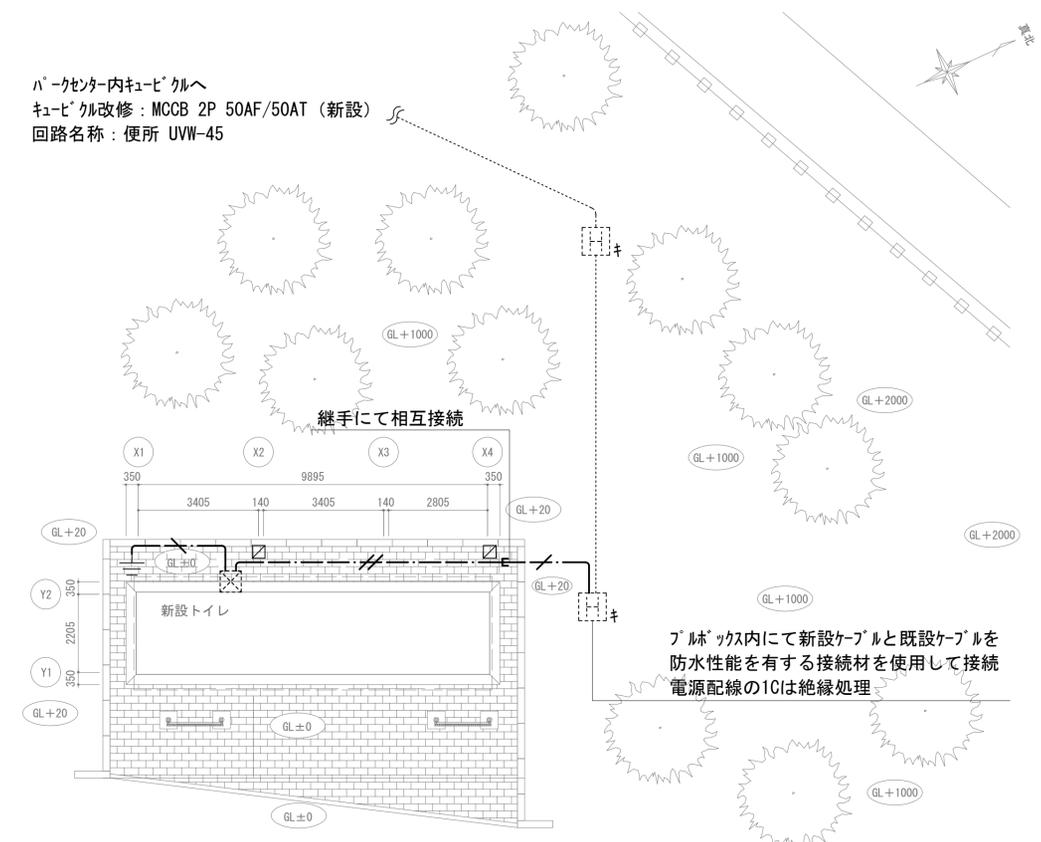
電気設備平面図(改修前) S=1 : 100

【凡例】

記号	名称	備考
	ブルボックス	トイレ付帯設備
	ハンドホール	既設
	D種接地極 (ELCB)	新設
	埋設鉄 (鉄製)	新設
	CV38-3C (FEP50)	既設
	EM-CE22-2C (FEP50)	配線のみ新設
	EM-CE22-2C (FEP40・G28)	配管配線新設
	EM-IE2.0 (PF16・G16)	配管配線新設
	地中埋設配線	
キ	既設	

注記

1. 特記なき配管・配線は既設使用とする。
2. 地中埋設配管には埋設シートを設けること。
3. トイレへの電源供給は、トイレ付属ブルボックス内にて新設配線とトイレ側配線を接続する。
4. 電気配管と給排水配管が接触しないよう、施工図で位置関係を調整すること。
5. 配管立上げ部は防食テープ巻き処理をすること。
6. 地中埋設配管のサイズ確認後、継手にて既設配管と新設配管の接続を行うこと。



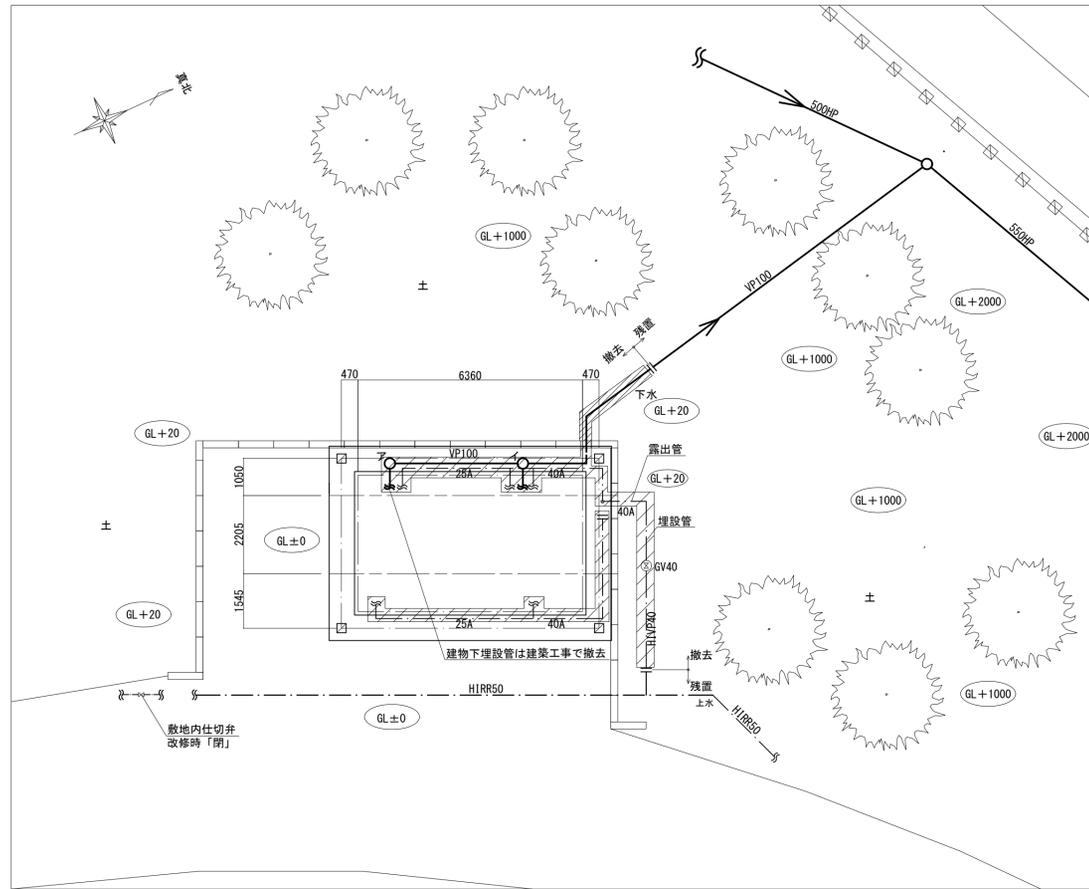
電気設備平面図(改修後) S=1 : 100

工事名	21世紀の森と広場西口トイレ改修工事		
図面名	電気設備平面図		
作成年月日	令和7年8月1日	変更年月日	
縮尺	1 : 100 (A1) 1 : 200 (A3)	図面番号	E-02
松戸市 街づくり部 建築保全課			

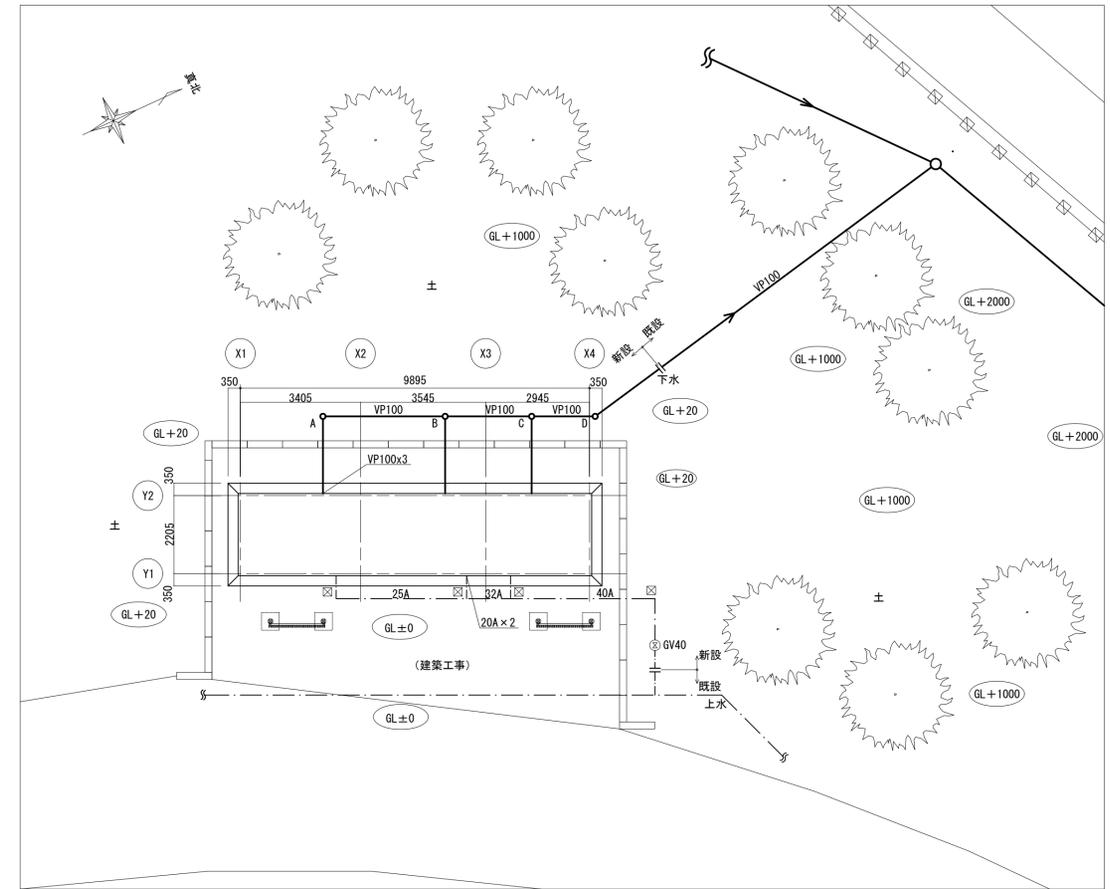


章	項目	特記事項																																																																																																																																																																																																																
○ 給水設備	● 配管材料	(1) 一般配管 ○水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-VB) (2) 地中埋設配管 ●水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-VD) (3) 給水引込管 ○ 引き込みは水道事業者の指定により、量水器以降の地中配管は、(○)とし、他の部分は(1)による。 ○ 図示の位置に取付ける。 ● 弁類 JIS又はJV ● 水道直結部分 (● 10K ○ ) ○ その他の部分 (○ 5K ○ ) ○ ステンレス配管を使用する場合の材質はステンレス製とする。																																																																																																																																																																																																																
	○ 絶縁継手																																																																																																																																																																																																																	
○ 排水設備	● 配管材料	(1) 屋内汚水管 ○ 排水管 ○ 通気管 ○ ポンプアップ排水管 ○ (2) 屋外第一樹まで ● VP硬質ポリ塩化ビニル管 樹間 ● VP硬質ポリ塩化ビニル管																																																																																																																																																																																																																
	○ 洗面器等の排水管 ○ 満水試験継手 ● インバート樹・ため樹@ ○ 雨水抑制施設@	洗面器に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップとする。 ○ 標準仕様書第2編 2.4.8(f)による。 ○ 図示の箇所に取り付ける。 ● プラスチック樹 (○ ● 標準図による。) ○ コンクリート樹 (○ ○ 標準図による。) ○ ○ 雨水浸透樹 (○ ○ ) ○ 雨水浸透管 (○ ○ ) ・松戸市雨水流出抑制施設設置指導要綱に準じる。																																																																																																																																																																																																																
○ 給湯設備	○ 配管材料	○																																																																																																																																																																																																																
	○ 弁類	JIS又はJV (○ 5K ○ 10K (図示部分)) ○ ステンレス配管を使用する場合の材質はステンレス製とする。 湯沸器の給排気筒(二重管)の隠ぺい箇所は保温を行う。なお、保温の種別は標準仕様書第2編 3.1.5表 2.3.5のh・(イ)・Ⅱとする。																																																																																																																																																																																																																
○ 消火設備	○ 配管材料	(1) 屋内消火栓 一般 ○ 地中 ○ (2) 連結送水管 一般 ○ 地中 ○ (3) 地中 ○																																																																																																																																																																																																																
	○ 屋内消火栓種類 ○ 屋内消火栓開閉弁 ○ 保温 ○ 建物導入部配管 ○ 不活性ガス消火設備 ○ 泡消火設備	○ 易操作性1号消火栓 ○ 1号消火栓 ○ 2号消火栓 ○ 10k 屋外露出配管は標準仕様書第2編 3.1.5 e2・(ハ)・Ⅶによる保温を行う。 標準図(建物導入部の変位吸収配管要領)による。 別図による。 別図による。																																																																																																																																																																																																																
○ ガス設備	○ ガス種別	○ 都市ガス ○ 液化石油ガス																																																																																																																																																																																																																
	○ 配管材料	○ 都市ガス ガス事業者の供給規定による。 ○ 液化石油ガス (1) 一般 ○ (2) 地中 ○																																																																																																																																																																																																																
○ 設備	○ 充てん容器	別途 (○ 50kg ○ ○ ) × 本																																																																																																																																																																																																																
	○ 集合装置 ○ 転倒防止等 ○ メーター	○ 標準図(液化石油ガス容器廻り配管要領)による 本組。 ○ 標準図(液化石油ガス容器転倒防止施工要領)による。 ○ 親メーター (貸与品) (○直読式 ○バルブ式 (バルブ発信器は ○買い取り) ○子メーター (買い取り) (○直読式 ○バルブ式)																																																																																																																																																																																																																
○ 撤去工事	○ ガス漏れ警報器	○ 本工事 (図示による) ○ 別途工事 ○ 外部警報端子 (○ 無 ○ 有) ○ 要 ○ 不要 ○ 要 ○ 不要																																																																																																																																																																																																																
	○ 漏洩検知装置 ○ 電気防食 ○ 引込負担金等 ○ バルク貯槽	○ 要 (○ 別途工事 ○ 本工事) ○ 不要 ○ 横型 ○ 縦型 (液化石油ガス貯蔵能力 kg)																																																																																																																																																																																																																
○ 撤去	● 保温材 ● 支持金物等 ● 撤去跡処理@	保温材は、配管・ダクト等より分離する。 ダクト及び配管等の支持金物及び吊り金物は本工事にて撤去する。 撤去跡は、塗装及び防食処理等を行うこと。また雨水の浸入などが生じる場所及び部分については防水処理を行うこと。																																																																																																																																																																																																																
<table border="1"> <caption>別表-1</caption> <thead> <tr> <th colspan="2">機材等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table> <table border="1"> <caption>別表-2 保温工事仕様</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th colspan="2">保温材</th> <th rowspan="2">保温仕様</th> <th rowspan="2">外装材</th> </tr> <tr> <th>GN</th> <th>RW</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">給排水衛生設備配管</td> <td>給水管</td> <td>屋内露出(一般居室、廊下)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>保温材+鉄線 (PSFの場合粘着テープ) +合成樹脂製カバー</td> <td>外装材 か- SUS AL</td> </tr> <tr> <td>給水管</td> <td>機械室、書庫、倉庫</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>保温材+鉄線 (PSFの場合粘着テープ) +原紙+アルミガラスクロス</td> <td>---</td> </tr> <tr> <td>給水管</td> <td>天井内、パイプシャフト内、空隙壁中</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>アルミガラスクロス化粧保温材 +アルミガラスクロス粘着テープ</td> <td>---</td> </tr> <tr> <td>給水管</td> <td>屋外露出 (バルコニー、開放廊下含む)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>保温材+鉄線 (PSFの場合粘着テープ) +ポリエチレンフィルム+外装材</td> <td>○ ○ ○</td> </tr> <tr> <td>給水管</td> <td>浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>保温材+鉄線 (PSFの場合粘着テープ) +ポリエチレンフィルム</td> <td>○ ○ ○</td> </tr> <tr> <td>給水管</td> <td>暗渠内(ピット内含む)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>保温材+鉄線 (PSFの場合粘着テープ) +着色アルミガラスクロス</td> <td>---</td> </tr> <tr> <td>給水管</td> <td>ガラスウール保温材 (GN) ロックウール保温材 (RW)</td> <td></td> <td></td> <td>80A以下: 20mm, 100A~150A: 25mm, 200A以上: 40mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>給水管</td> <td>ポリスチレンフォーム保温材 (PSF)</td> <td></td> <td></td> <td>80A以下: 20mm, 100A 以上: 25mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>給排水衛生設備機器</td> <td>銅製タンク</td> <td>屋内</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>鉄 (PSFの場合鉄又は接着剤) +保温板 (厚さ25mm)</td> <td>○ --</td> </tr> <tr> <td>貯気筒</td> <td>貯気筒</td> <td>屋外</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>+ポリスチレンフィルム+鉄線+外装材</td> <td>○ --</td> </tr> <tr> <td>貯湯タンク</td> <td>貯湯タンク</td> <td>屋内</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>鉄+保温板 (厚さ25mm)+鉄線+外装材</td> <td>○ --</td> </tr> <tr> <td>貯湯タンク</td> <td>貯湯タンク</td> <td>屋外</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>鉄+保温板 (厚さ25mm)+鉄線+外装材</td> <td>○ --</td> </tr> <tr> <td>排気筒</td> <td>排気筒</td> <td>隠ぺい箇所</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>保温材+鉄線+アルミガラスクロス+金網</td> <td>---</td> </tr> <tr> <td rowspan="12">冷媒管 (断熱材被覆鋼管)</td> <td>ガス管保温厚@</td> <td>20mm以上</td> <td></td> <td></td> <td>液管保温厚 10mm以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>外装材</td> <td>屋内露出(一般居室、廊下)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>合成樹脂カバー ○ 保温化粧ケース (○ 製)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>外装材</td> <td>機械室、書庫、倉庫</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>合成樹脂カバー ○ 保温化粧ケース (○ 製)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>外装材</td> <td>屋外露出</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>ステンレス鋼板 ○ 合成樹脂カバー ○ 保温化粧ケース (○ 製)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="12">空調設備機器</td> <td>冷水水ヘッド</td> <td>屋内</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>鉄 (PSFの場合鉄又は接着剤) +保温板 (厚さ50mm)</td> <td>○ --</td> </tr> <tr> <td>冷水水タンク</td> <td>屋外</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>+ポリスチレンフィルム+鉄線+外装材</td> <td>○ --</td> </tr> <tr> <td>温水水ヘッド</td> <td>屋内</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>鉄+保温板 (厚さ50mm)+鉄線+外装材</td> <td>○ --</td> </tr> <tr> <td>温水水タンク</td> <td>屋外</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>鉄+保温板 (厚さ50mm)+鉄線+外装材</td> <td>○ --</td> </tr> <tr> <td>熱交換器</td> <td>屋内</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>鉄+保温板 (厚さ25mm)+鉄線+外装材</td> <td>○ --</td> </tr> <tr> <td>膨張タンク</td> <td>屋外</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>鉄+保温板 (厚さ25mm)+鉄線+外装材</td> <td>○ --</td> </tr> <tr> <td rowspan="12">空調設備ダクト</td> <td>長方形ダクト (全熱交換器用ダクトは、保温厚25mmとする)</td> <td>機械室、書庫、倉庫、屋内隠ぺい、ダクトシャフト内</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>鉄+アルミガラスクロス化粧保温板 (厚さ25mm)+アルミガラスクロス粘着テープ</td> <td>---</td> </tr> <tr> <td>長方形ダクト (全熱交換器用ダクトは、保温厚25mmとする)</td> <td>屋外露出 (バルコニー、開放廊下含む) 浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>鉄+保温板 (厚さ50mm) +ポリスチレンフィルム+鉄線+外装材</td> <td>○ ○ ○</td> </tr> <tr> <td>長方形ダクト (全熱交換器用ダクトは、保温厚25mmとする)</td> <td>屋内露出(一般居室、廊下)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>保温板 (厚さ50mm)+外装材</td> <td>○ --</td> </tr> <tr> <td>長方形ダクト (全熱交換器用ダクトは、保温厚25mmとする)</td> <td>機械室、書庫、倉庫、屋内隠ぺい、ダクトシャフト内</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>アルミガラスクロス化粧保温板 (厚さ25mm)+アルミガラスクロス粘着テープ</td> <td>---</td> </tr> <tr> <td>長方形ダクト (全熱交換器用ダクトは、保温厚25mmとする)</td> <td>屋外露出 (バルコニー、開放廊下含む) 浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>保温板 (厚さ50mm) +ポリスチレンフィルム+鉄線+外装材</td> <td>○ ○ ○</td> </tr> <tr> <td>消音内張り</td> <td>サブライチャンバー</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>鉄+保温板 (厚さ50mm) +ガラスクロス+銅まき甲金網</td> <td>---</td> </tr> <tr> <td>消音内張り</td> <td>消音チャンバー・消音エルボ</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>鉄+保温板 (厚さ25mm)+ガラスクロス</td> <td>---</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 凡例 保温材 GN: グラスウール保温材 RW: ロックウール保温材 PSF: ポリスチレンフォーム保温材 外装材 か-: カラー亜鉛鉄板 SUS: ステンレス鋼板 AL: 溶融アルミニウム亜鉛鉄板 ※ 不燃材以外の配管が建築基準法施行令第112条第15項に規定する準耐火構造等の防火区画を貫通する場合貫通部より1m 以上はロックウール保温材を使用すること ※ 配管の保温は、継手及び弁類を含む。図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、標準仕様書による。</p>			機材等										区分	項目	施工箇所	保温材		保温仕様	外装材	GN	RW	給排水衛生設備配管	給水管	屋内露出(一般居室、廊下)	○	○	保温材+鉄線 (PSFの場合粘着テープ) +合成樹脂製カバー	外装材 か- SUS AL	給水管	機械室、書庫、倉庫	○	○	保温材+鉄線 (PSFの場合粘着テープ) +原紙+アルミガラスクロス	---	給水管	天井内、パイプシャフト内、空隙壁中	○	○	アルミガラスクロス化粧保温材 +アルミガラスクロス粘着テープ	---	給水管	屋外露出 (バルコニー、開放廊下含む)	○	○	保温材+鉄線 (PSFの場合粘着テープ) +ポリエチレンフィルム+外装材	○ ○ ○	給水管	浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない)	○	○	保温材+鉄線 (PSFの場合粘着テープ) +ポリエチレンフィルム	○ ○ ○	給水管	暗渠内(ピット内含む)	○	○	保温材+鉄線 (PSFの場合粘着テープ) +着色アルミガラスクロス	---	給水管	ガラスウール保温材 (GN) ロックウール保温材 (RW)			80A以下: 20mm, 100A~150A: 25mm, 200A以上: 40mm		給水管	ポリスチレンフォーム保温材 (PSF)			80A以下: 20mm, 100A 以上: 25mm		給排水衛生設備機器	銅製タンク	屋内	○	○	鉄 (PSFの場合鉄又は接着剤) +保温板 (厚さ25mm)	○ --	貯気筒	貯気筒	屋外	○	○	+ポリスチレンフィルム+鉄線+外装材	○ --	貯湯タンク	貯湯タンク	屋内	○	○	鉄+保温板 (厚さ25mm)+鉄線+外装材	○ --	貯湯タンク	貯湯タンク	屋外	○	○	鉄+保温板 (厚さ25mm)+鉄線+外装材	○ --	排気筒	排気筒	隠ぺい箇所	-	○	保温材+鉄線+アルミガラスクロス+金網	---	冷媒管 (断熱材被覆鋼管)	ガス管保温厚@	20mm以上			液管保温厚 10mm以上		外装材	屋内露出(一般居室、廊下)	○	○	合成樹脂カバー ○ 保温化粧ケース (○ 製)		外装材	機械室、書庫、倉庫	○	○	合成樹脂カバー ○ 保温化粧ケース (○ 製)		外装材	屋外露出	○	○	ステンレス鋼板 ○ 合成樹脂カバー ○ 保温化粧ケース (○ 製)		空調設備機器	冷水水ヘッド	屋内	○	○	鉄 (PSFの場合鉄又は接着剤) +保温板 (厚さ50mm)	○ --	冷水水タンク	屋外	○	○	+ポリスチレンフィルム+鉄線+外装材	○ --	温水水ヘッド	屋内	○	○	鉄+保温板 (厚さ50mm)+鉄線+外装材	○ --	温水水タンク	屋外	○	○	鉄+保温板 (厚さ50mm)+鉄線+外装材	○ --	熱交換器	屋内	○	○	鉄+保温板 (厚さ25mm)+鉄線+外装材	○ --	膨張タンク	屋外	○	○	鉄+保温板 (厚さ25mm)+鉄線+外装材	○ --	空調設備ダクト	長方形ダクト (全熱交換器用ダクトは、保温厚25mmとする)	機械室、書庫、倉庫、屋内隠ぺい、ダクトシャフト内	○	○	鉄+アルミガラスクロス化粧保温板 (厚さ25mm)+アルミガラスクロス粘着テープ	---	長方形ダクト (全熱交換器用ダクトは、保温厚25mmとする)	屋外露出 (バルコニー、開放廊下含む) 浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない)	○	○	鉄+保温板 (厚さ50mm) +ポリスチレンフィルム+鉄線+外装材	○ ○ ○	長方形ダクト (全熱交換器用ダクトは、保温厚25mmとする)	屋内露出(一般居室、廊下)	○	○	保温板 (厚さ50mm)+外装材	○ --	長方形ダクト (全熱交換器用ダクトは、保温厚25mmとする)	機械室、書庫、倉庫、屋内隠ぺい、ダクトシャフト内	○	○	アルミガラスクロス化粧保温板 (厚さ25mm)+アルミガラスクロス粘着テープ	---	長方形ダクト (全熱交換器用ダクトは、保温厚25mmとする)	屋外露出 (バルコニー、開放廊下含む) 浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない)	○	○	保温板 (厚さ50mm) +ポリスチレンフィルム+鉄線+外装材	○ ○ ○	消音内張り	サブライチャンバー	○	○	鉄+保温板 (厚さ50mm) +ガラスクロス+銅まき甲金網	---	消音内張り	消音チャンバー・消音エルボ	○	○	鉄+保温板 (厚さ25mm)+ガラスクロス	---
機材等																																																																																																																																																																																																																		
区分	項目	施工箇所	保温材		保温仕様	外装材																																																																																																																																																																																																												
			GN	RW																																																																																																																																																																																																														
給排水衛生設備配管	給水管	屋内露出(一般居室、廊下)	○	○	保温材+鉄線 (PSFの場合粘着テープ) +合成樹脂製カバー	外装材 か- SUS AL																																																																																																																																																																																																												
	給水管	機械室、書庫、倉庫	○	○	保温材+鉄線 (PSFの場合粘着テープ) +原紙+アルミガラスクロス	---																																																																																																																																																																																																												
	給水管	天井内、パイプシャフト内、空隙壁中	○	○	アルミガラスクロス化粧保温材 +アルミガラスクロス粘着テープ	---																																																																																																																																																																																																												
	給水管	屋外露出 (バルコニー、開放廊下含む)	○	○	保温材+鉄線 (PSFの場合粘着テープ) +ポリエチレンフィルム+外装材	○ ○ ○																																																																																																																																																																																																												
	給水管	浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない)	○	○	保温材+鉄線 (PSFの場合粘着テープ) +ポリエチレンフィルム	○ ○ ○																																																																																																																																																																																																												
	給水管	暗渠内(ピット内含む)	○	○	保温材+鉄線 (PSFの場合粘着テープ) +着色アルミガラスクロス	---																																																																																																																																																																																																												
	給水管	ガラスウール保温材 (GN) ロックウール保温材 (RW)			80A以下: 20mm, 100A~150A: 25mm, 200A以上: 40mm																																																																																																																																																																																																													
	給水管	ポリスチレンフォーム保温材 (PSF)			80A以下: 20mm, 100A 以上: 25mm																																																																																																																																																																																																													
	給排水衛生設備機器	銅製タンク	屋内	○	○	鉄 (PSFの場合鉄又は接着剤) +保温板 (厚さ25mm)	○ --																																																																																																																																																																																																											
	貯気筒	貯気筒	屋外	○	○	+ポリスチレンフィルム+鉄線+外装材	○ --																																																																																																																																																																																																											
	貯湯タンク	貯湯タンク	屋内	○	○	鉄+保温板 (厚さ25mm)+鉄線+外装材	○ --																																																																																																																																																																																																											
	貯湯タンク	貯湯タンク	屋外	○	○	鉄+保温板 (厚さ25mm)+鉄線+外装材	○ --																																																																																																																																																																																																											
排気筒	排気筒	隠ぺい箇所	-	○	保温材+鉄線+アルミガラスクロス+金網	---																																																																																																																																																																																																												
冷媒管 (断熱材被覆鋼管)	ガス管保温厚@	20mm以上			液管保温厚 10mm以上																																																																																																																																																																																																													
	外装材	屋内露出(一般居室、廊下)	○	○	合成樹脂カバー ○ 保温化粧ケース (○ 製)																																																																																																																																																																																																													
	外装材	機械室、書庫、倉庫	○	○	合成樹脂カバー ○ 保温化粧ケース (○ 製)																																																																																																																																																																																																													
	外装材	屋外露出	○	○	ステンレス鋼板 ○ 合成樹脂カバー ○ 保温化粧ケース (○ 製)																																																																																																																																																																																																													
	空調設備機器	冷水水ヘッド	屋内	○	○	鉄 (PSFの場合鉄又は接着剤) +保温板 (厚さ50mm)	○ --																																																																																																																																																																																																											
		冷水水タンク	屋外	○	○	+ポリスチレンフィルム+鉄線+外装材	○ --																																																																																																																																																																																																											
		温水水ヘッド	屋内	○	○	鉄+保温板 (厚さ50mm)+鉄線+外装材	○ --																																																																																																																																																																																																											
		温水水タンク	屋外	○	○	鉄+保温板 (厚さ50mm)+鉄線+外装材	○ --																																																																																																																																																																																																											
		熱交換器	屋内	○	○	鉄+保温板 (厚さ25mm)+鉄線+外装材	○ --																																																																																																																																																																																																											
		膨張タンク	屋外	○	○	鉄+保温板 (厚さ25mm)+鉄線+外装材	○ --																																																																																																																																																																																																											
		空調設備ダクト	長方形ダクト (全熱交換器用ダクトは、保温厚25mmとする)	機械室、書庫、倉庫、屋内隠ぺい、ダクトシャフト内	○	○	鉄+アルミガラスクロス化粧保温板 (厚さ25mm)+アルミガラスクロス粘着テープ	---																																																																																																																																																																																																										
			長方形ダクト (全熱交換器用ダクトは、保温厚25mmとする)	屋外露出 (バルコニー、開放廊下含む) 浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない)	○	○	鉄+保温板 (厚さ50mm) +ポリスチレンフィルム+鉄線+外装材	○ ○ ○																																																																																																																																																																																																										
長方形ダクト (全熱交換器用ダクトは、保温厚25mmとする)			屋内露出(一般居室、廊下)	○	○	保温板 (厚さ50mm)+外装材	○ --																																																																																																																																																																																																											
長方形ダクト (全熱交換器用ダクトは、保温厚25mmとする)			機械室、書庫、倉庫、屋内隠ぺい、ダクトシャフト内	○	○	アルミガラスクロス化粧保温板 (厚さ25mm)+アルミガラスクロス粘着テープ	---																																																																																																																																																																																																											
長方形ダクト (全熱交換器用ダクトは、保温厚25mmとする)			屋外露出 (バルコニー、開放廊下含む) 浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない)	○	○	保温板 (厚さ50mm) +ポリスチレンフィルム+鉄線+外装材	○ ○ ○																																																																																																																																																																																																											
消音内張り			サブライチャンバー	○	○	鉄+保温板 (厚さ50mm) +ガラスクロス+銅まき甲金網	---																																																																																																																																																																																																											
消音内張り	消音チャンバー・消音エルボ		○	○	鉄+保温板 (厚さ25mm)+ガラスクロス	---																																																																																																																																																																																																												
(備考) @印の特記内容は、松戸市仕様である。																																																																																																																																																																																																																		

工事名	21世紀の森と広場西ロイトイレ改築工事		
図面名	特記仕様書(2)		
作成年月日	令和7年 8月 1日	変更年月日	
縮尺	no scale	図面番号	M-02
松戸市 街づくり部 建築保全課			



平面図(既設) S=1:100



平面図(改修) S=1:100

<樹リスト>

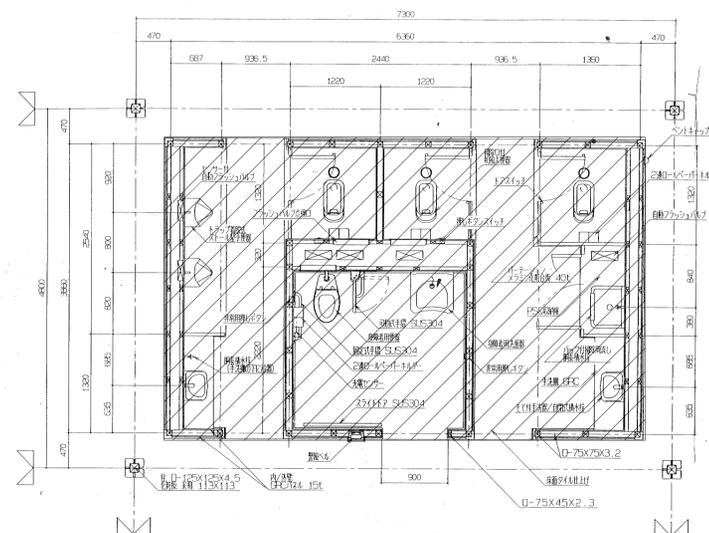
記号	名称	管底
ア	排水樹300φ	500h
イ	排水樹300φ	580h

<樹リスト>

記号	名称	管底
A	小口径樹150φ	455h
B	小口径樹150φ	525h
C	小口径樹150φ	575h
D	小口径樹150φ	615h

<凡例>

凡例	名称	仕様	備考
—	給水管	SGP-VD硬質塩化ビニルライニング鋼管	
—	汚水管	VP硬質ポリ塩化ビニル管	
⊕	弁類	GV: 仕切弁	JIS-10K、弁きょう共
⊕	地中埋設標		
—	切断箇所		
▨	撤去範囲		衛生器具設備、配管類、柵類



詳細図(既設) no scale

機器表(撤去)

器具名称	付属品	男性	女性	みんな	合計
和風大便器	洗浄弁式、紙巻器(2連)	1	2		3
小便器	洗浄弁	2			2
洗面器	横水栓	1	1		2
化粧鏡	W350mmxH350mm	1	1		2
大便器(みんなのトイレ用)	洗浄弁式、紙巻器(2連)			1	1
洗面器(みんなのトイレ用)	横水栓			1	1
化粧鏡(みんなのトイレ用)	W350mmxH600mm			1	1
L型手すり	大便器用ステンレス製L形			1	1
可変手すり	大便器用ステンレス製U形			1	1
掃除流し	横水栓		1		1
単水栓	横水栓	1			1

工事名	21世紀の森と広場西トイレ改築工事		
図面名	平面図(既設、改修)、詳細図(既設)		
作成年月日	令和7年 8月 1日	変更年月日	
縮尺	1:100 no scale	図面番号	M-03
松戸市 街づくり部 建築保全課			

《 松戸市建築工事提出書類等一覧表 》 (2025.7)

1. 工事名称 21世紀の森と広場西口トイレ改築工事

2. 工事場所 松戸市千駄堀296番1及び296番2

3. 工期 令和 年 月 日 から 令和 8年 3月19日 まで

4. CADデータの貸与 有 無

- ※1. 基準等にある「建」とは「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和7年版」を指す。
- ※2. 基準等にある「電」とは「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)令和7年版」を指す。
- ※3. 基準等にある「機」とは「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)令和7年版」を指す。
- ※4. 基準等にある「請負契約〇〇条」は「工事請負契約書」を指す。

	摘要	様式	部数	基準等	提出責任者 ※記入無は 現場代理人
工 事 着 工 前 に 提 出	<p>■工事实績情報(工事カルテ)の登録 (受注登録工事カルテ受領書、受注登録データ) ※契約額が500万円以上(契約後10日以内に登録)</p> <p style="text-align: right;">【契約後14日以内】</p>	報告	1	建1.1.4 電1.1.4 機1.1.4 松戸市建設工事 適正化指導要綱	代表者
	<p>■電気保安技術者通知書 (資格者証の写し)</p> <p style="text-align: right;">【契約後14日以内】</p>	承諾	1	建1.3.3 電1.3.2 機1.3.2	
	<p>■施工体制台帳・下請業者選定通知書・施工体系図 【下請契約後14日以内に提出(下請契約がない場合不要)】</p>	報告	2	請負契約第7条 建1.1.5 電1.1.5 機1.1.5 松戸市建設工事 適正化指導要綱	
	<p>■実施工程表 ※建築・電気・機械などの関連工事工程も記載 【初回打合せ後速やかに】</p>	承諾	1	建1.2.1 電1.2.1 機1.2.1	
	<p>■総合施工計画書</p> <p>1. 組織表(現場代理人、主任技術者、工事用電力設備の保安責任者など)、緊急連絡体制、仮設計画図</p> <p>2. 工事概要、建物概要、予想される災害・公害対策、出入口の管理、危険箇所の点検方法、火災予防、養生・片付け、工事の保険、関係官公署その他の関係機関への届出等一覧表など</p> <p style="text-align: right;">【初回打合せ後速やかに】</p>	報告	1	建1.2.2 電1.2.2 機1.2.2	

	摘 要	様式	部数	基準等	提出責任者 ※記入無は 現場代理人
工 事 中 に 提 出	■設計図書の照査報告書 【適宜】	報告	1	請負契約第19条	代表者
	■工種別施工計画書 ※資格者名簿・資格者証、使用資機材、使用材料・ 機材品質証明書などを添付	承諾	1	建1.2.2 電1.2.2 機1.2.2	主任技術者 及び現場代理人
	■施工図等（施工図、製作図、カタログ等） ※施工図、製作図は主任・現場が全ての図面に記名	承諾	1	建1.2.3 電1.2.3 機1.2.3	主任技術者 及び現場代理人
	■発生材処理計画書 産廃業者と契約書の写し（単価記載） 産廃業者の許可書の写し 再資源利用（促進）計画書 建設副産物情報交換システム工事登録証明書 ※登録は契約額が100万円以上 【廃棄物搬出前】	報告	1	建1.3.11 電1.3.9 機1.3.9	
	■月報（出来高・進捗表） 【月初め7日以内】	報告	1		
	□定例打合せ記録 【適宜】	報告	1		
	■詳細工程表（月間工程表） ※年末年始・GW・夏季等については、 安全管理措置、警備体制、緊急連絡先を記載 【前月末日まで】	報告	1	建1.2.1 電1.2.1 機1.2.1	
	□地業（既製コンクリート杭等）工事結果報告書	報告	1	建1.5.4	主任技術者 及び現場代理人
	■試験結果報告書	報告	1	建1.4.5 建1.5.6 電1.4.5 電1.5.4 機1.4.5 機1.5.5	主任技術者 及び現場代理人
	□発生土処理報告書	報告	1		
	■発生材処理報告書 産廃業者マニフェストの写し（E票） 再資源利用（促進）実施書 建設副産物情報交換システム工事登録証明書 【処分後】	報告	1	建1.3.11 電1.3.9 機1.3.9	
	□出来高検査 1 出来高検査願 2 出来高報告書	報告	1	請負契約第39条	
	■現場休止届（年末年始・GW・夏季等） ※安全管理措置、警備体制、緊急連絡先を記載	報告	1		

	摘 要	様式	部数	基準等	提出責任者 ※記入無は 現場代理人
完 成 後 に 提 出	■関係官公署その他の関係機関への届出等 【工事完了後速やかに】	報告	1		代表者
	■しゅん工届 【工事完了後速やかに】		1	建1.6.1 電1.6.1 機1.6.1	
	■自主検査記録（現場代理人以外の検査とする） 【工事完了後速やかに】	報告	1		
	■工事写真（建築工事写真撮影基準に準拠）			建1.2.4 電1.2.4 機1.2.4	
	■ 1 工事記録写真	写真帳	1		
	■ 2 完成写真 【工事完了後速やかに】	写真帳	1		
	■完成図 PDF, CADデータ	CDもし くはDVD	2	建1.7.2 電1.7.2 機1.7.2	
	□電子納品 電子媒体 電子媒体納品書	CDもし くはDVD	2 1	※松戸市建築事業 に係る電子納品 運用ガイドライ ン（案）	
	■工事实績情報（工事カルテ）の登録 （竣工登録工事カルテ受領書、竣工登録データ） ※500万以上	報告書	1	建1.1.4 電1.1.4 機1.1.4	
	■引渡し関係 ■ 1 予備品等引渡通知書（リスト共） □ 2 キーボックス		3		
	□防水工事に関する保証書 各種防水仕様による保証書（特記仕様による） 元請業者、製造業者及び防水施工業者の連名	保証書	3		
	■保全に関する資料 □ 1 建築物等の利用に関する説明書 ■ 2 保守に関する説明書（機器取扱説明書を含む） □ 3 機器性能試験成績書 ■ 4 官公署届出書類	原則、 CDもし くはDVD	2 2 1 1	建1.7.3 電1.7.3 機1.7.3	
	□ 5 総合試運転報告書 □ 6 総合試運転調整報告書		1 1	電1.7.3 機1.7.3	

《 松戸市建築工事検査・立会い一覧表 》 建築工事編 (2025.7)

1. 工事名称 21世紀の森と広場西口トイレ改築工事

2. 工事場所 松戸市千駄堀296番1及び296番2

3. 工期 令和 年 月 日 から 令和 8年 3月19日 まで

標 仕：公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和7年版  
改標仕：公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)令和7年版

No	検査・立会い項目	基準等	備考
1	検査		
■ 1	品質管理検査(必要に応じて)	標 仕 1. 3.6 改標仕 1. 3.6	
■ 2	材料の検査(承諾済は除く)	標 仕 1. 4.4 改標仕 1. 4.4	
■ 3	施工の検査等	標 仕 1. 5.5 改標仕 1. 7.5	
■ 4	敷地の状況確認及び縄張り	標 仕 2. 2.1	
■ 5	ベンチマーク	標 仕 2. 2.2	
■ 6	遣方	標 仕 2. 2.3	
■ 7	根切り	標 仕 3. 2.1 改標仕 8.28.3	
□ 8	地業工事 掘削深さ及び支持層 (アースリ工法、リバース工法、オルケーシング工法)	標 仕 4. 5.5	
■ 9	配筋検査	標 仕 5. 1.3 改標仕 8. 3.1	
■ 10	コンクリート打ち込み後補修	標 仕 6. 9.6 改標仕 8. 8.6	
□ 11	高力ボルト締付確認の記録	標 仕 7. 4.8 改標仕 8.14.8 改標仕 8.20.7	
□ 12	鉄骨建方	標 仕 7.10.5	
□ 13	鉄骨現場組立て	改標仕 8.19.3	
□ 14	鋼板巻組立て	改標仕 8.23.6	
□ 15	防水層の施工	標 仕 9. 1.3 改標仕 3. 1.3	
□ 16	タイル張施工後の接着力試験不合格の場合	標 仕 11. 1.7 改標仕 4. 4.8 改標仕 6.16.2	
□ 17	部分使用		
□ 18	出来高		
2	立会い		
■ 1	材料の検査に伴う試験	標 仕 1. 4.5 改標仕 1. 4.5	
■ 2	監督職員の指示による立会い	標 仕 1. 5.8 改標仕 1. 7.8	
□ 3	地業工事の試験による立会い (杭又は支持地盤の位置及び土質の試験)	標 仕 4. 2.1 改標仕 8.28.4	